

Pioneer *sound.vision.soul*

MDLP



MD/CD/チューナー・
DSPメインユニット

FH-P055MD

取扱説明書

目次 4ページ

carrozzeria

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- 表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)



警告

[異常時の処置]

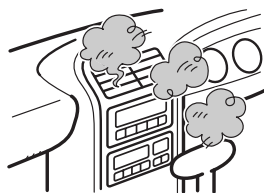
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

目次

はじめに

はじめに

- | | | |
|---|----------------|----|
| 1 | 各部のなまえ | 6 |
| 2 | 本機の操作の基本 | 8 |
| 3 | ご使用になる前に | 10 |
| 4 | 本機のリセットについて | 11 |
| 5 | 別売リモコンでの操作について | 11 |

ここだけで

ここだけ読めばすぐ使えます

- | | | |
|---|------------------|----|
| 1 | 聞きたいソース (音源) を選ぶ | 12 |
| | ● 電源を切る | |
| 2 | CDのふだんの操作 | 14 |
| | ● CDを再生する | |
| | ● 曲を選ぶ | |
| | ● 早送り/早戻しをする | |
| | ● 音量を調節する | |
| | ● CDを取り出す | |
| 3 | MDのふだんの操作 | 16 |
| | ● MDを再生する | |
| | ● 曲を選ぶ | |
| | ● 早送り/早戻しをする | |
| | ● 音量を調節する | |
| | ● MDを取り出す | |
| 4 | ラジオのふだんの操作 | 18 |
| | ● バンドを選ぶ | |
| | ● 放送局を選ぶ | |
| | ● 音量を調節する | |
| 5 | マルチCDのふだんの操作 | 20 |
| | ● CDを選ぶ | |
| | ● 曲を選ぶ | |
| | ● 早送り/早戻しをする | |
| | ● 音量を調節する | |

CD/MD

内蔵CD/MDでCD/MDを聞く

- | | | |
|---|------------------------------|----|
| 1 | 演奏方法を切り換える | 22 |
| 2 | MDのタイトルなどを表示させる | 23 |
| 3 | CDのタイトルなどを表示させる | 24 |
| 4 | 「CD TEXT」のタイトルや
歌手名を表示させる | 25 |

ラジオ

ラジオを聞く

- | | | |
|---|------------------|----|
| 1 | 放送局を1局ずつ記憶させる | 26 |
| 2 | 記憶させた放送局を呼び出す | 27 |
| 3 | モードの切り換えかた | 28 |
| 4 | 複数の放送局を自動的に記憶させる | 29 |
| 5 | 放送局名を選ぶ | 30 |
| 6 | 放送局名などを表示させる | 31 |

マルチCD

マルチCDでCDを聞く

(別売のマルチCDを組み合わせたときのみ)

- | | | |
|----|------------------------------|----|
| 1 | 聞きたいCDを直接選ぶ | 32 |
| 2 | モードの切り換えかた | 33 |
| 3 | 同じ曲やCDを繰り返し聞く | 34 |
| 4 | 聞きたい曲やCDをさがす | 35 |
| 5 | いつもと違う曲順で聞く | 36 |
| 6 | 聞きたい曲だけ記憶させておく | 37 |
| 7 | 記憶させた曲だけ再生する | 38 |
| 8 | 記憶させた曲を1曲ずつ記憶から消す | 39 |
| 9 | 記憶させた曲をCDごとに記憶から消す | 39 |
| 10 | CDのタイトルを記憶させる | 40 |
| 11 | CDの音質を調整する | 42 |
| 12 | CD再生を一時停止する | 43 |
| 13 | タイトルを見て
聞きたいCDをさがす | 43 |
| 14 | CDのタイトルなどを表示させる | 44 |
| 15 | 「CD TEXT」のタイトルや
歌手名を表示させる | 44 |

C O N T E N T S

音の調節

音を調節する

- 1 オーディオ調節モードの切り換えかた 46
- 2 前後左右の音量バランスを調節する 48
- 3 小音量時の音にメリハリをつける 49
- 4 サブウーファーを使う 50
- 5 低い音をスピーカーから
出力させないようにする 52
- 6 外部アンプなどで
サブウーファーを調節する 54
- 7 各ソースの音量の違いをそろえる 55

DSP調節

音場と音質を調節する

- 1 DSP調節モードの切り換えかた 56
- 2 イメージに合った演奏会場を再現する 57
- 3 音楽に合った音質を設定する 58
- 4 イコライザーカーブを大まかに補正する 59
- 5 イコライザーカーブを細かく調節する 60
- 6 音場の中心で聞く 62

便利な機能

便利な機能と初期設定

- 1 瞬時に音量を小さくする 64
- 2 時計を表示させる 64
- 3 交通情報を受信する 65
- 4 よく使う機能を直接操作する 65
- 5 初期設定モードの切り換えかた 66
- 6 時計を合わせる 67
- 7 外部機器の音声を聞く 68
- 8 外部機器の名称を入力する 69
- 9 夜間のディスプレイの
明るさを切り換える 69
- 10 RCA外部出力から
出力される信号を選ぶ 70
- 11 音の歪みを補正する 71
- 12 エンタテインメント表示
を切り換える 71

すぐに使いたいときは、
ここをお読みください。

ここ
だけ
読め
ば
すぐ
使え
ます

はじめに

内蔵CD/MDでCD/MDを聞く

ラジオを聞く

マルチCDでCDを聞く

音を調節する

音場と音質を調節する

便利な機能と初期設定

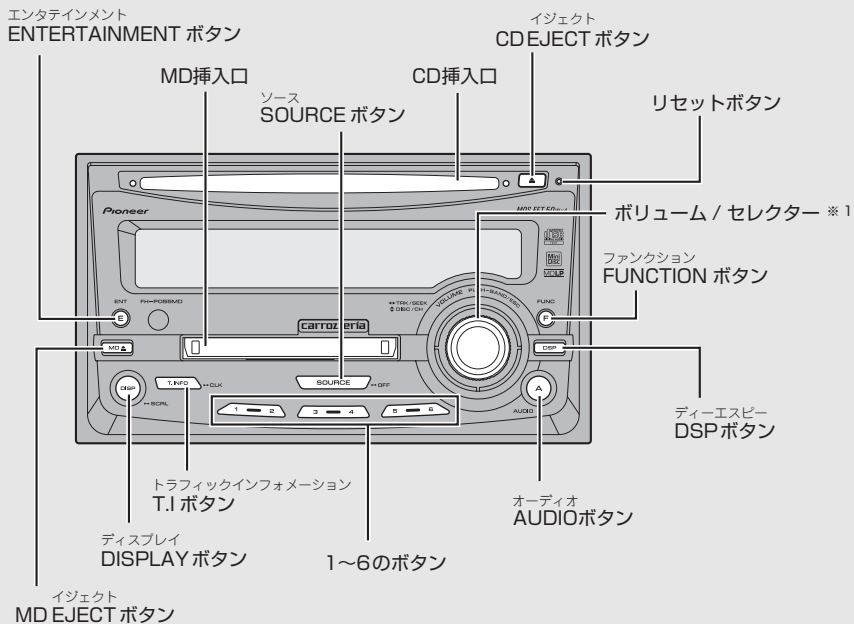
その他 (付録)

その他

その他 (付録)

- 1 CDの正しい使いかた 72
- 2 MDの正しい使いかた 74
- 3 保証書とアフターサービス 75
- 4 故障かな?と思ったら 76
- 5 こんなメッセージが表示されたら 78
- 6 おもな仕様 80

本体



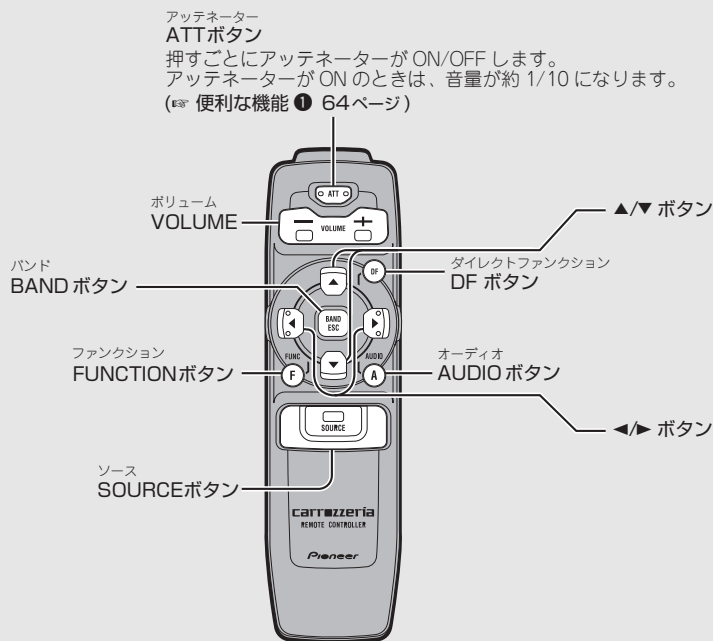
メモ

※1 ボリューム/セレクターは、ロータリーボリュームとセレクターの機能を兼ねています。本書の説明では、使う機能によってロータリーボリュームまたはセレクターと表記を変えています。

別売のリモコン「CD-R660」について

本体と同じなまへのボタンは、本体のボタンと同じ働きをします。DFボタン、ATTボタンでの操作は、リモコンだけで行うことができます。また、一部のボタンは本体と操作方法が異なります。(☞はじめに⑤ 11ページ)

- 別売のリモコン「CD-R660」で、本機を操作することができます。
- リモコンの取り扱いについては、リモコンの説明書をお読みください。



メモ

- 別売のステアリングリモートコントロールユニット「CD-SR100」(以下、ステアリングリモコン)で本機を操作することもできます。ただし、この場合は、一部リモコンでは操作できない機能があります。
- ステアリングリモコンの操作のしかたや取り扱いについては、ステアリングリモコンの説明書をお読みください。

DF ボタンについて

DF ボタンを押すと、ソースごとにあらかじめ記憶されている機能を直接操作することができます。内蔵CD/MD・マルチCDでポーズ、ラジオでBSM、テレビでBSSMを操作することができます。(☞ 便利な機能 ④ 65ページ)

本機の操作の基本

本機を操作するときに、よく使うボタンなどについての説明です。

ふだん使う機能の操作のしかた

ふだん使う機能は、セレクターで操作します。

聞いている ソース 操 作	CD、MDを 聞いているとき	ラジオ、テレビを聞いているとき
セレクターを左右 に操作する	選曲、早送り/早戻し	自動選局、手動選局
セレクターを上下 に操作する	再生するディスクの切り換え (マルチCDを接続している場合のみ)	記憶させた放送局の切り換え
セレクターを押す	—————	バンド (FM/AM) の切り換え

便利な機能の操作のしかた

ふだん使う機能以外は、オペレーションモードを切り換えて操作します。
オペレーションモードには5つのモードがあり、次の手順で操作します。

手 順	モード	ファンクション モード	詳細設定 モード	初期設定 モード	オーディオ 調節モード	DSP 調節 モード
1 それぞれの モードにする		FUNCTION ボタンを 押す。	FUNCTION ボタンを 2秒以上 押す。	電源OFFの ときに FUNCTION ボタンを2 秒以上押す。	AUDIO ボタンを 押す。	DSP ボタンを 押す。
2 機能を切り換える		FUNCTION ボタンを押す。			AUDIOボタン を押す。	DSP ボタンを 押す。
3 機能をON/OFFする または 項目を選ぶ		セレクターを上下に操作する。				セレクターを上下 左右に操作する。 (選択または調節)
		セレクターを左右に操作する。				
4 それぞれの モードを解除する		セレクターを押す。				

それぞれのモードで操作できる機能について

- ファンクションモード : CDのリPEAT再生 (☞ CD/MD① 22ページ) やマルチCDのスキャン再生 (☞ マルチCD④ 35ページ) など、それぞれのソースの便利な機能を操作できます。
- 詳細設定モード : CDのタイトル入力 (☞ マルチCD⑩ 40ページ) やラジオの放送局名選択 (☞ ラジオ⑤ 30ページ) など、便利な機能の詳細を設定できます。
- 初期設定モード : 外部機器 (☞ 便利な機能⑦ 68ページ) やディママー (☞ 便利な機能⑨ 69ページ) などの設定ができます。
- オーディオ調節モード : フェーダー/バランス (☞ 音の調節② 48ページ) など、音に関する調節ができます。
- DSP調節モード : グラフィックイコライザー (☞ DSP調節③ 58ページ) などの音場と音質に関する調節ができます。

は
じ
め
に

ガイド表示について

本機の操作を行っているとき、ディスプレイを見て操作ができるように、ディスプレイにガイド表示が出ます。



FUNCTION、AUDIO、DSP、セレクターの中で、操作可能なボタンが表示されます。

表示の例	内容
	セレクターを上下左右に操作して本機を操作できます。
	セレクターを上下に操作して機能のON/OFFができます。また、FUNCTIONボタンで機能を切り換えることができます。
	セレクターを左右に操作して項目を選ぶことができます。また、AUDIOボタンで機能を切り換えることができます。
	セレクターを上下左右に操作して機能を操作できます。また、DSPボタンで機能を切り換えることができます。

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。

また、本機が電源OFFのときでも、車のエンジンを止めた状態で長時間、車のエンジンスイッチをON（またはACC）にしないでください。バッテリーが上がる恐れがあります。

「CD TEXT」について

「CD TEXT」とは、CDのタイトル/歌手名/曲名などの文字情報が収録されたCDです。ディスクタイトル面に下記マークのついているCDは、「CD TEXT」です。（下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。）



50枚型マルチCDプレーヤーの使用について

本機では、50枚型マルチCDプレーヤーの取扱説明書に記載されている50枚型マルチCDプレーヤー特有の機能进行操作することはできません。本機で操作できるのは、本書に記載されている機能のみです。

長時間録音されたMDの再生について

本機は、MDLPに対応しています。長時間録音されているMDも再生することができます。

MDLPについて

MDLPとは、今までお使いになっているMDで、従来より長時間（2倍、4倍の時間）録音することができる圧縮方式です。

デモモードについて

デモモードは、本機が電源OFFのときに、各ソースや本機の機能を表示して紹介する機能です。

デモモードを解除したいときは、デモンストレーションが表示されているときに6のボタンを押してください。もう一度押すと、デモモードがONになります。

車のエンジンを止めた状態で、デモンストレーションを長時間表示すると、バッテリー上がりの原因になります。

メモ

- 赤リード線（アクセサリ電源）は、常に車のバッテリーから電源が供給される電源回路には接続しないでください。車のイグニッションスイッチと本機の電源をOFFにしても、デモンストレーションが表示され、バッテリー上がりの原因になります。

はじめに

4

本機のリセットについて

リセット

本機を初期設定状態に戻すことができます。

リセットボタンについて

リセットボタンを押すと、本機のマイコンが初期設定状態（ご購入直後の状態）に戻ります。次のようなときに、リセットボタンを押してください。

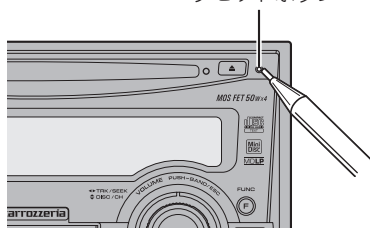
- 接続が終わった後。
- 本機が正しく動作しないとき。
- ディスプレイが正しく表示されないとき。

リセットボタンを押すと、本機の記憶（時計やラジオのプリセットなど）が消去されます。もう一度、セットしなおしてください。

1 本機をリセットする

ペン先などでリセットボタンを押す

リセットボタン



はじめに

5

別売リモコンでの操作について

本書では、本体のボタンを例に操作説明を行っています。本機は、本体のボタンと別売リモコンのどちらでも同様の操作を行うことができますが、本体のボリューム/セレクターと、リモコンの▲/▼/◀/▶ボタン、BANDボタン、VOLUMEボタンでは操作方法が異なります。別売リモコンで操作する場合は、次の表を参照して、操作を行ってください。

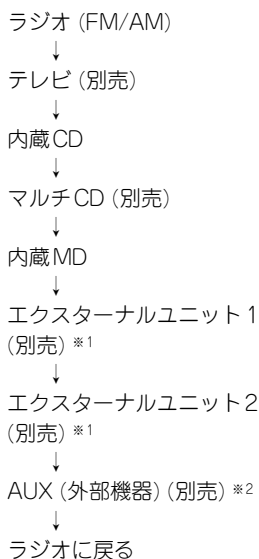
ボリューム/セレクター	リモコンのボタン
上に操作する	▲ ボタンを押す
下に操作する	▼ ボタンを押す
左に操作する	◀ ボタンを押す
右に操作する	▶ ボタンを押す
押す	BAND ボタンを押す
右に回す	VOLUME ボタン (+) を押す
左に回す	VOLUME ボタン (-) を押す

聞きたいソース (音源) に切り換えることができます。

1 ソースを切り換える

SOURCE ボタンを押す

SOURCE ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



2 電源を切る

SOURCE ボタンを 1 秒以上押す

本機の電源が切れます。

メモ

- 接続していないソースには切り換わりません。
- CD や MD がセットされていないときは、そのソースには切り換わりません。
- 本機の青リード線 (オートアンテナ) に車側のオートアンテナのコントロール端子を接続している場合、ソースをラジオにすると車に装備されているオートアンテナがのびます。

*1 エクスターナルユニットとは、本機がソースとして対応していないパイオニア製品 (将来発売される製品など) の基本的な機能をコントロールできるように用意している特別なソースです。本機では、2 台のエクスターナルユニットをコントロールすることができます。2 台のエクスターナルユニットを接続した場合、本機によって、エクスターナル 1、エクスターナル 2 が自動的に設定されます。

*2 AUX (外部機器) の設定 (☞ **便利な機能 7** 68 ページ) を ON にしないと、AUX には切り換わりません。

ここだけで

2

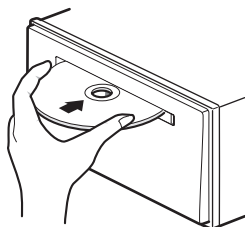
CDのふだんの操作

● CDを再生する ● 曲を選ぶ

ここだけの操作で、内蔵のCDプレーヤーでCDを聞くことができます。

1 CDを再生する

タイトル面を上にして、CD挿入口に差し込む



CDの再生が始まります。

ご注意

CDシングル (8cm CD) もアダプターなしでセットできます。アダプターは絶対に使用しないでください。

- 「CD TEXT」を再生する場合は、CDをセットしたときや、他のソースから内蔵CDに切り換えたときなどに、ディスクタイトルおよびトラックタイトルを自動的に1回スクロール表示します。
- タイトル入力 (内蔵CD/MD 24ページ) したCDを再生する場合は、CDをセットしたときや、他のソースから内蔵CDに切り換えたときなどに、ディスクタイトルを自動的に1回スクロール表示します。

2 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

セレクターを左右に操作する

右：次の曲を選ぶとき (または早送り)
左：前の曲を選ぶとき (または早戻し)



曲番号 再生経過時間

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し 続けている間

- 「CD TEXT」を再生している場合は、曲を選んだときに、トラックタイトルを自動的に1回スクロール表示します。ただし、今聞いている曲の頭出しをしたときには、表示しません。

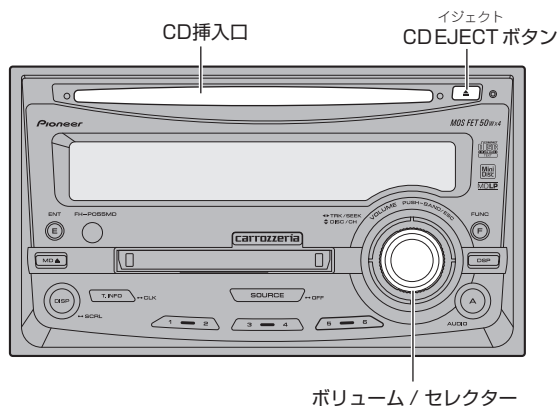
メモ

- CDをセットしたまま電源をOFFにしたり、他のソース (ラジオやMDなど) に切り換えることもできます。(ここだけで12ページ)
- CD挿入口には、CD以外のものを絶対に入れないでください。故障の原因となります。

● 早送り/早戻しをする ● 音量を調節する ● CDを取り出す

トラックサーチ / 早送り/早戻し / 音量調節

ここだけ読めば
すぐ使えます



3 音量を調節する

ロータリーボリュームを右または左に回す

右に回す：大きくするとき
左に回す：小さくするとき



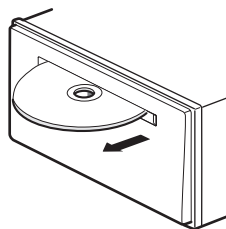
音量は0～40の範囲で調節できます。

●約4秒間、音量が表示されます。

4 CDを取り出して CD再生をやめる

CD EJECT ボタンを押す

CDが出てきて、電源がOFFになります。



●出てきたCDはすぐに取り出して、保管してください。

ここだけで

3

MDのふだんの操作

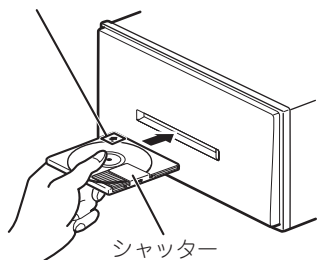
● MDを再生する ● 曲を選ぶ

ここだけの操作で、内蔵のMDプレーヤーでMDを聞くことができます。

1 MDを再生する

ラベル面を上にして、MD挿入口に差し込む

矢印の向きに差し込みます。



確認

MDのシャッターが閉まっていることを確認してから差し込んでください。



MDの再生が始まります。

- MDをセットしたときや、他のソースから内蔵MDに切り換えたときなどに、ディスクタイトル、トラックタイトルを自動的に1回スクロール表示します。

2 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

セレクターを左右に操作する

右：次の曲を選ぶとき(または早送り)

左：前の曲を選ぶとき(または早戻し)

長時間再生表示



曲番号 再生経過時間

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し 続けている間

- 曲を選んだときに、トラックタイトルを自動的に1回スクロール表示します。ただし、今聞いている曲の頭出しをしたときには、表示しません。
- 2倍長時間録音のMD再生時は“×2”が、4倍長時間録音のMD再生時は“×4”が表示されます。

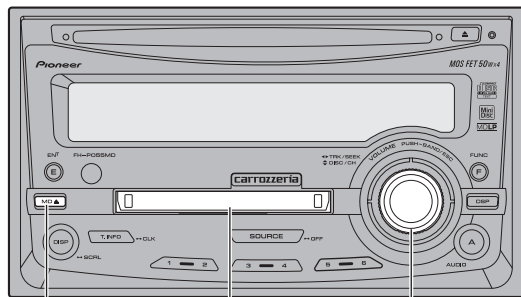
メモ

- MDをセットしたまま電源をOFFにしたり、他のソース(ラジオやCDなど)に切り換えることもできます。(☞ ここだけで① 12ページ)
- MD挿入口には、MD以外のものを絶対に入れないでください。故障の原因となります。

● 早送り/早戻しをする ● 音量を調節する ● MDを取り出す

トラックサーチ / 早送り/早戻し / 音量調節

ここだけ読めば
すぐ使えます



イジェクト MD EJECT ボタン MD 挿入口 ボリューム / セクター

3 音量を調節する

ロータリーボリュームを右または左に回す

右に回す：大きくするとき
左に回す：小さくするとき



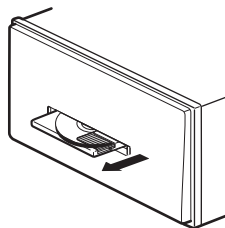
音量は0～40の範囲で調節できます。

●約4秒間、音量が表示されます。

4 MDを取り出してMD再生をやめる

MD EJECT ボタンを押す

MDが出てきて、電源がOFFになります。



●出てきたMDはすぐに取り出して、保管してください。

ここだけで

4

ラジオのふだんの操作

● バンドを選ぶ ● 放送局を選ぶ

ここだけの操作で、ラジオを聞くことができます。

1 ソースをラジオにする

SOURCE ボタンを押して選ぶ

ラジオを受信します。



ステレオ放送を受信すると表示されます。

2 バンドを選ぶ

セレクターを押す

セレクターを押すごとに、次のようにバンドが切り換わります。

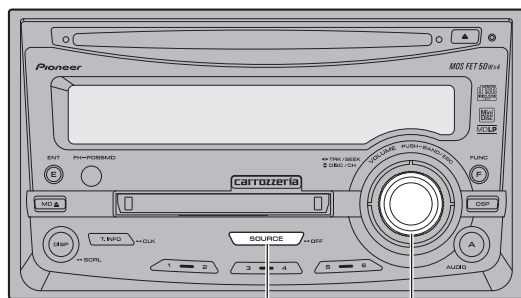
FM1 → FM2
↑ ↓
AM2 ← AM1



- バンドごとに放送局を6局ずつ記憶できます。(ラジオ104 26、29ページ)
- バンド1とバンド2を切り換えて使うことでより多くの放送局を記憶できます。例えば、バンド1にはふだんよく聞く放送局を記憶させておきます。旅行先など、どんな放送局があるのかわからない地域に行ったときに、バンド2に切り換えてBSMを使うと、バンド1に記憶させた放送局はそのまま使いになれます。

● 音量を調節する

ここだけ読めば
すぐ使えます



ソース

SOURCE ボタン

ボリューム / セクター

3 放送局を選局する

セクターを左右に操作する

右：高い周波数の放送局を選局するとき

左：低い周波数の放送局を選局するとき



受信周波数

選局方法の使い分け

手動選局 (1ステップずつ) 0.5秒未満

自動選局 0.5秒以上

- 0.5秒以上押し続けている間、途中の放送局をとばすことができます。ボタンを離れたところから自動選局を開始します。
- 電波の強い放送局を選局するには、自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには、手動選局をおすすめします。

4 音量を調節する

ロータリーボリュームを右または左に回す

右に回す：大きくするとき

左に回す：小さくするとき



音量は0～40の範囲で調節できます。

- 約4秒間、音量が表示されます。

5 ラジオの受信をやめる

他のソースに切り換えるか、電源OFFにする (E) ここだけで① 12ページ

ここだけで

5


マルチCDのふだんの操作 ● CDを選ぶ ● 曲を選ぶ

ここだけの操作で、別売のマルチCDプレーヤーでCDを聞くことができます。

1 ソースを マルチCDにする

SOURCE ボタンを押して選ぶ

マルチCDの再生が始まります。

- 「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー（「CDX-P670」など）に「CD TEXT」をセットしたときは、他のソースからマルチCDに切り換えたときやCDを選んだときに、ディスクタイトルおよびトラックタイトルを自動的に1回スクロール表示します。
- タイトル入力（ マルチCD 40ページ）したCDを再生する場合は、他のソースからマルチCDに切り換えたときやCDを選んだときに、ディスクタイトルを自動的に1回スクロール表示します。

2 聞きたいCDを選ぶ

セレクターを上下に操作する

上：次のCDを選ぶとき

下：前のCDを選ぶとき



CD番号

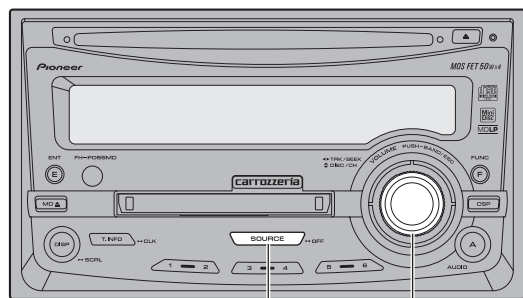
メモ

- マルチCDが準備動作（CDの有無の確認やCDの情報の読み込みなど）をしている場合があります。このとき、ソースをマルチCDに切り換えると“Ready”が表示されます。
- マルチCD再生中にマルチCDからマガジンを取り出すと、“No Mag”が表示されます。

● 早送り/早戻しをする ● 音量を調節する

ディスクサーチ / トラックサーチ / 早送り/早戻し / 音量調節

ここだけ読めます
すぐ使えます



ソース SOURCE ボタン

ボリューム/セレクター

3 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

セレクターを左右に操作する

右：次の曲を選ぶとき (または早送り)

左：前の曲を選ぶとき (または早戻し)



曲番号

再生経過時間

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し 続けている間

- 「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー (「CDX-P670」など) に「CD TEXT」をセットしたときは、曲を選んだときに、トラックタイトルを自動的に1回スクロール表示します。ただし、今聞いている曲の頭出しをしたときには、表示しません。

4 音量を調節する

ロータリーボリュームを右または左に回す

右に回す：大きくするとき

左に回す：小さくするとき

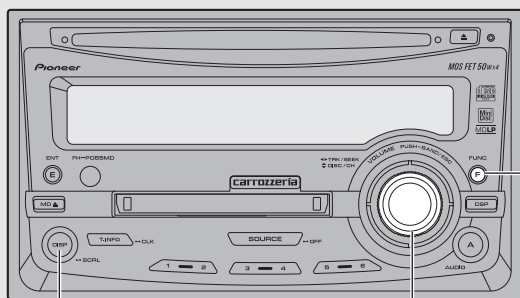


音量は0～40の範囲で調節できます。

- 約4秒間、音量が表示されます。

5 マルチCD再生をやめる

他のソースに切り換えるか、電源OFFにする (※ ここだけで① 12ページ)



ディスプレイ
DISPLAY ボタン

ボリューム / セレクター

ファンクション
FUNCTION ボタン

CD/MD 1 演奏方法を切り換える

内蔵のCD/MDプレーヤーで演奏方法を切り換えて聞くことができます。

1 ファンクションモードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

リピートモード (RPT)



ランダムモード (RDM)



トラックスキャンモード (Scan)



ポーズモード (Pause)



リピートモードに戻る

メモ

- ファンクションモードを解除するには、セレクターを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

2 選んだ演奏方法を ON にする

セレクターを上操作する (下で OFF)



セレクターを押して、ファンクションモードを解除してください。

ファンクションモードについて

リピートモード

今聞いている曲を繰り返し聞くことができます。

ランダムモード

選曲を内蔵CD/MDにまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生することができます。

トラックスキャンモード

曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々と再生していきます。聞きたい曲が再生されたらスキャン再生をOFFにしてください。(スキャン再生を始めて約30秒たつと、ファンクションモードが自動的に解除されます。この場合、再度トラックスキャンモードに切り換えてから、スキャン再生をOFFにしてください。)

ポーズモード

CD/MD再生を一時停止します。

メモ

- スキャン再生は、スキャン再生を始めた曲まで戻ると、自動的に解除されます。

MDのタイトルなどを表示させる

タイトル表示 / タイトルスクロール

再生経過時間以外に、ディスクタイトル（ディスク名）やトラックタイトル（曲名）などを表示させることができます。タイトルは一度に8文字まで表示することができます。また、隠れている文字を順に表示（スクロール表示）させることができます。

チェック ◆ 内蔵MDの機能です。

タイトル表示について

- 本機はカナ文字に対応していますので、カナやアルファベットの小文字などがそのまま表示されます。
- 表示をディスクタイトルおよびトラックタイトルに切り換えたときに、自動的に1回スクロール表示します。
- 本機では、MDの録音方式に関わらずトラックタイトル先頭の「LP:」を表示しません。（※ はじめに⑩ページ）
（長時間録音されたトラックタイトルの先頭には、「LP:」があらかじめ入力されている場合があります。）
- 本機は、MDのグループ機能に対応していません。グループ登録されたMDを再生すると、ディスクタイトルはグループ名などを含めた状態で表示されます。

表示切り換え

1 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

再生経過時間表示



ディスクタイトル (DISC TTL)



トラックタイトル (TRK TTL)



スペアナ表示 1



スペアナ表示 2



再生経過時間表示に戻る

メモ

- ディスクタイトルおよびトラックタイトルが入力されていないMDで表示を切り換えると、“NO DATA”が表示されます。

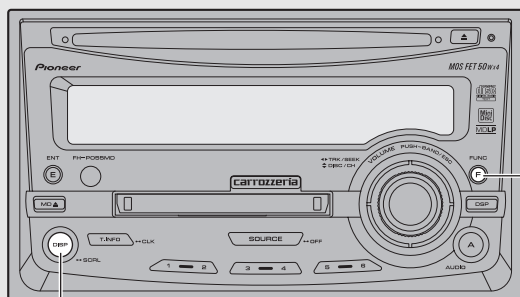
隠れているタイトルを表示する

1 隠れているタイトルを表示する (スクロール表示)

DISPLAY ボタンを2秒以上押す



隠れている文字が順番に表示されます。



ディスプレイ
DISPLAY ボタン

ファンクション
FUNCTION ボタン

CD/MD
3

CDのタイトルなどを表示させる

タイトル表示

CDのタイトルを表示させるために、あらかじめタイトルを入力して記憶させておきます。

チェック ◆ 内蔵CDの機能です。

タイトル表示について

タイトル表示は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

タイトルの記憶のしかたは、マルチCDと同じです。(※ マルチCD⑩ 40ページ)

- タイトルは8文字まで入力できます。
- 内蔵CDのタイトルは、48枚分の記憶ができます。
- 48枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。
- タイトルを記憶させたCDをマルチCDにセットしたときは、ディスプレイにタイトルを表示させることができます。
- マルチCDを組み合わせると、最大100枚分のタイトルを記憶することができます。

タイトルを入力するとき

1 タイトルを入力したいCDを再生する

(※ ここだけで⑫ 14ページ)

2 ディスクタイトル入力モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押す

ご注意

「CD TEXT」には、タイトルを入力することはできません。そのため、「CD TEXT」を再生中に手順2の操作を行っても、タイトル入力モードには切り換わりません。

3 CDタイトルを入力し、記憶させる

(※ マルチCD⑩ 40ページ)

マルチCDのタイトル入力の手順3～5を参照し、同じ操作で記憶させてください。

表示切り換え

1 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

再生経過時間表示



ディスクタイトル (DISC TTL)



スペアナ表示 1



スペアナ表示 2



再生経過時間表示に戻る

メモ

- タイトルが入力されていないCDで表示を切り換えると、“NO TITLE”が表示されます。

CD/MD

4

「CD TEXT」のタイトル
や歌手名を表示させる

タイトル表示 / タイトルスクロール

本機に「CD TEXT」をセットしたとき、ディスクタイトルやトラックタイトルなどを表示させることができます。一度に8文字まで表示することができます。また、隠れている文字を順に表示させることもできます。

チェック ◆ 内蔵CDの機能です。

「CD TEXT」について

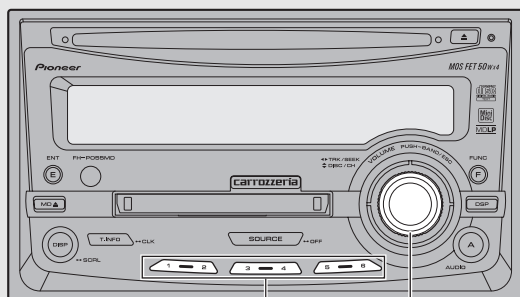
「CD TEXT」とは、CDのタイトル/歌手名/曲名などの文字情報が収録されたCDです。ディスクタイトル面に下記マークのついているCDは、「CD TEXT」です。(下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。)



タイトルの表示のしかた、隠れているタイトルの表示のしかたは、マルチCD (CD マルチCD 44ページ) と同じです。

タイトル表示について

本機の「CD TEXT」文字表示は、英数字のみに対応しています。



1～6のボタン

ボリューム/セレクター

ラジオ
1

放送局を1局ずつ記憶させる

プリセットメモリー

1～6のボタンに、お好みの放送局を、1局ずつ手で記憶させることができます。

1 記憶させるバンドを選ぶ

セレクターを押す
(☞ ここだけで④ 18ページ)

2 記憶させたい放送局を選局する

セレクターを左右に操作する
(☞ ここだけで④ 19ページ)

3 記憶させる

1～6のボタンの1つを2秒以上押す



押したボタンの番号(記憶番号)が点滅します。



記憶が終わると点滅が終わり、押したボタンに受信中の放送局が記憶されます。

メモ

- 記憶させた放送局を呼び出すには (☞ ラジオ②)

記憶させた放送局を呼び出す

プリセットチューニング

記憶させた放送局は、簡単に呼び出すことができます。

1 記憶させたバンドを選ぶ

セレクターを押す

( ここだけで④ 18ページ)

2 記憶させた放送局を呼び出す

■記憶させた放送局を直接呼び出す

1～6のボタンの1つを押す

■記憶させた放送局を順番に呼び出す

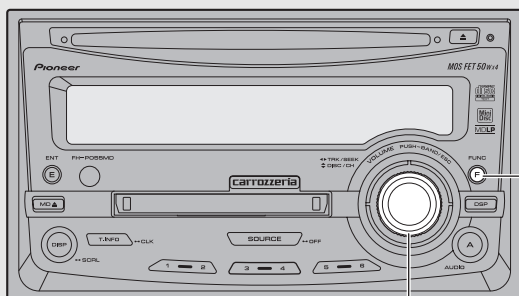
セレクターを上下に操作する

上：次の記憶番号の放送局を呼び出すとき

下：前の記憶番号の放送局を呼び出すとき



受信中の記憶番号



ファンクション
FUNCTION ボタン

ボリューム / セレクター

ラジオ 3 モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードの切り換え

1 ファンクションモードにする

FUNCTION ボタンを押す

BSMモードになります。

(ラジオ④)

メモ

- ファンクションモードを解除するには、セレクターを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

詳細設定モードの切り換え

1 詳細設定モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押す

放送局名選択モードになります。

(ラジオ⑤ 30ページ)

メモ

- 詳細設定モードを解除するには、セレクターを押します。

複数の放送局を自動的に記憶させる

BSM

受信状態の良い放送局をさがして、自動的に1～6のボタンに記憶させることができます。

1 記憶させるバンドを選ぶ

セレクターを押す

(☞ ここだけで④ 18ページ)

2 BSMモードにする

FUNCTION ボタンを押す

(☞ ラジオ②)



3 BSMを始める

セレクターを上にも操作する (下で途中解除)



記憶動作中に点滅します。



記憶が終わると、点滅が止まり、1のボタンに記憶した放送局を受信します。

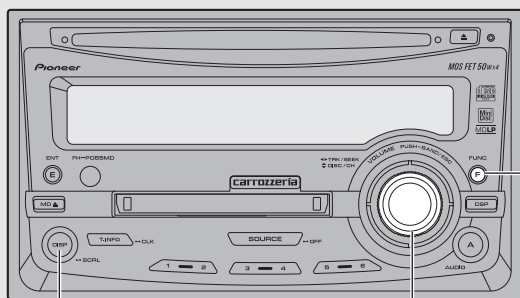
セレクターを押して、ファンクションモードを解除してください。



受信中の記憶番号

メモ

- 受信状態の良い放送局が、6局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。
- BSMとは、Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー)の略です。
- 記憶させた放送局を呼び出すには (☞ ラジオ② 27ページ)



ディスプレイ
DISPLAY ボタン

ボリューム / セレクター

ファンクション
FUNCTION ボタン

ラジオ 5 放送局名を選ぶ

放送局名選択

ラジオの放送局名を表示させる (☞ ラジオ⑥) ために、あらかじめ放送局名を選んでおきます。

放送局名表示について

同じ周波数でも、地域によって受信する放送局は違うことがあります。(例：FM 80.0MHz を使用している放送局は、「TOKYO FM」「FM青森」「FM福岡」など複数あります。)

本機には、あらかじめ放送局名が記憶されています。ディスプレイに表示されている放送局名が受信している放送局名と異なるような場合は、放送局名を変更して表示することができます。

1 バンドを選ぶ

セレクターを押す
(☞ ここだけで④ 18ページ)

2 放送局を選局する

セレクターを左右に操作する
(☞ ここだけで④ 19ページ)

3 放送局名選択モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押す
(☞ ラジオ③ 28ページ)



約2秒間表示されます。

受信周波数以外に、放送局名選択で選んだ放送局名やスペアナを表示させることができます。

4 放送局名を選ぶ

セレクターを左右に操作する

右：次の放送局名を選ぶとき

左：前の放送局名を選ぶとき



受信中の周波数に該当する放送局名が点滅します。

ご注意

本機に登録されていない放送局名は選べません。

5 放送局名を変更する

セレクターを上にも操作する



セレクターを押して、詳細設定モードを解除してください。

メモ

- 選んだ周波数に該当する放送局名が登録されていないと、“NO DATA”と表示されます。
- 放送局名を表示させたくないときは、“_ _ _ _ _” (全て空白)を選んでください。
- パイオニア製のFMモジュレータータイプのマルチCDをお使いの方は、モジュレーター周波数に合わせると、放送局名を“FM M-CD”に変更して表示することができます。
- パイオニア製のTVをFMモジュレーターでお使いの方は、モジュレーター周波数に合わせると、放送局名を“FM TV SND”に変更して表示することができます。

1 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

受信周波数表示



放送局名表示



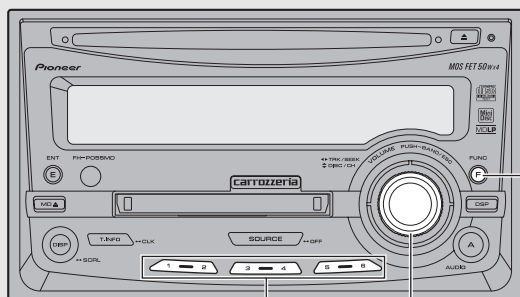
スペアナ表示 1



スペアナ表示 2



受信周波数表示に戻る



1~6のボタン

ボリューム / セレクター

マルチCD

1

聞きたいCDを 直接選ぶ

ダイレクトサーチ

聞きたいCDを直接選ぶことができます。

1

聞きたいCDを選ぶ

1~6のボタンを押す

2秒未満：1~6枚目のCDを選ぶとき

2秒以上：7~12枚目のCDを選ぶとき



CD番号

モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードの切り換え

1 ファンクションモードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

リピートモード (☞ マルチCD⑥ 34ページ)



タイトルリストモード
(☞ マルチCD⑩ 43ページ)



ランダムモード (☞ マルチCD⑤ 36ページ)



スキップモード (☞ マルチCD④ 35ページ)



ITS再生モード (☞ マルチCD⑦ 38ページ)



ポーズモード (☞ マルチCD⑫ 43ページ)



COMP切り換えモード
(☞ マルチCD⑪ 42ページ)



リピートモードに戻る

メモ

- ファンクションモードを解除するには、セレクトターを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

詳細設定モードの切り換え

1 詳細設定モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押す

2 詳細設定モードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

タイトル入力モード*¹
(☞ マルチCD⑩ 40ページ)



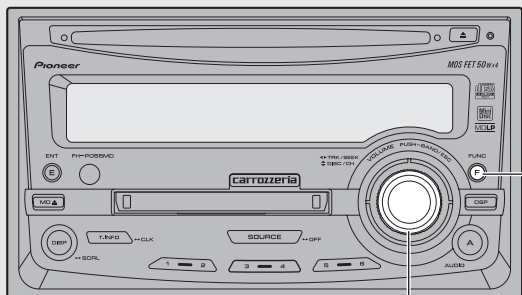
ITS入力モード
(☞ マルチCD⑥ 37ページ)



タイトル入力モードに戻る

メモ

- 詳細設定モードを解除するには、セレクトターを押します。
- *¹「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー (「CDX-P670」など) で「CD TEXT」を再生しているときは、タイトル入力モードに切り換わりません。(「CD TEXT」にあらかじめ収録されているタイトルは変更できません。)



ボリューム / セレクター

ファンクション
FUNCTION ボタン

マルチCD 3 同じ曲やCDを繰り返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞いたり、1枚のCDを繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

再生範囲について

再生範囲（繰り返し聞く範囲）は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲	リピート再生の内容
トラックリピート	再生中の曲を繰り返し再生します。
ディスクリピート	再生中のCDを繰り返し再生します。
マルチCDリピート	マルチCDにセットされているすべてのCDを通して再生します。（通常はこのモードにしておきます。）

2 再生範囲を切り換える

セレクターを左右に操作する

セレクターを操作するごとに次のように切り換わります。



MCD (マルチCDリピート)

↓
TRK (トラックリピート)

↓
DSC (ディスクリピート)

↓
MCD に戻る

↓
セレクターを押して、ファンクションモードを解除してください。



トラックリピートのときは“RPT”、ディスクリピートのときは“DISC”が表示されます。

1 リピートモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(☞ マルチCD ② 33ページ)



聞きたい曲やCDをさがす

トラックスキャン再生 / ディスクスキャン再生

今聞いているCDの、曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。また、すべてのCDの、1曲目の始めの部分だけを次々に聞くこともできます。

1 リpeatモードにして 再生範囲を選ぶ (☞ マルチCD③)

■ 聞きたい曲をさがすとき (トラックスキャン再生)

再生範囲をディスクリピートに切り換えます。再生中のCDの全曲を、約10秒ずつ再生できます。

■ 聞きたいCDをさがすとき (ディスクスキャン再生)

再生範囲をマルチCDリピートに切り換えます。マルチCD内のすべてのCDの1曲目だけを、約10秒ずつ再生できます。

2 スキャンモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(☞ マルチCD② 33ページ)



3 スキャン再生を始める

セレクターを上にも操作する



曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。



スキャン再生中に表示されます。

4 聞きたい曲 (CD) が再生されたら スキャン再生をOFFにする

確認

ファンクションモードが解除されていたら、手順2の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生をOFFにしてください。

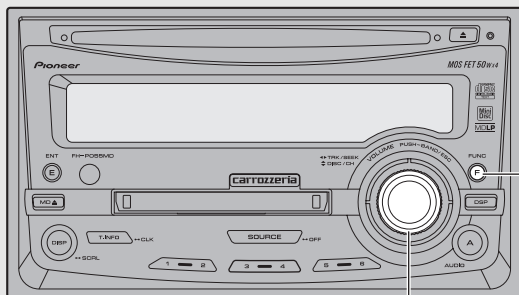
スキャンモードのときにセレクターを 下に操作する



セレクターを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

- スキャン再生を始めた曲 (またはCD) まで戻ると、スキャン再生は解除されます。
- トラックリピートのときに、スキャン再生をONにすると、再生範囲がディスクリピートに切り換わります。



ファンクション
FUNCTION ボタン

ボリューム / セレクター

マルチCD 5 いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

選曲をマルチCDにまかせて、いつもと違う曲順(ランダム)で再生することができます。

1 リpeatモードにして再生範囲 を選ぶ (☞ マルチCD④ 34ページ)

選んだ再生範囲内でランダム再生が行われます。

2 ランダムモード にする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(☞ マルチCD② 33ページ)



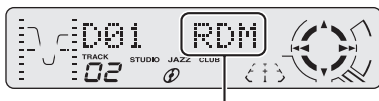
3 ランダム再生をONにする

セレクターを上(下でOFF)



次の曲から、ランダムに選曲します。

↓
セレクターを押して、ファンクションモードを解除してください。



ランダム再生中に表示されます。

メモ

- トラックリピートのときに、ランダム再生をONにすると、再生範囲がディスクリピートに切り換わります。

聞きたい曲だけ記憶させておく

ITS記憶

記憶させた曲だけ再生する (☞ マルチCD⑦ 38ページ) ために、あらかじめ聞きたい曲をマルチCDに記憶させておきます。

ITSについて

ITSとは、Instant Track Selection (インスタントトラックセレクション) の略です。

ITSは、聞きたい曲だけを記憶させておき、それを再生する機能です。

- 曲の記憶はCDごとに行われます。CDを入れ替えても、そのCDの記憶は消えません。
- CD1枚につき99曲まで記憶することができます。(「CDX-P1250」「CDX-P650」以前に発売されたマルチCDでは、記憶できる曲が24曲目までになります。)
- ITSは、タイトル (☞ マルチCD⑩ 40ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。
- 100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

1 記憶させたいCDを再生する

セレクターを上下に操作する

(☞ ここだけで⑤ 20ページ)

2 ITS入力モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(☞ マルチCD② 33ページ)



3 記憶させたい曲を選ぶ

セレクターを左右に操作する

(☞ ここだけで⑥ 21ページ)

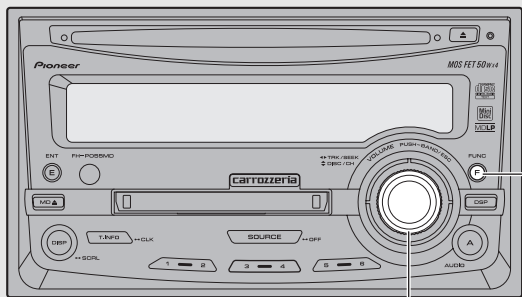
4 記憶させる

セレクターを上にも操作する



約2秒間表示され、記憶したことを知らせます。

↓
セレクターを押して、詳細設定モードを解除してください。



ファンクション
FUNCTION ボタン

ボリューム / セレクター

マルチCD 7 記憶させた曲だけ再生する

ITS再生

ITS記憶 (※ マルチCD ⑥ 37ページ) で記憶させた曲だけを再生することができます。

1 リpeatモードにして再生範囲を選ぶ

(※ マルチCD ③ 34ページ)

選んだ再生範囲内でITS再生が行われます。

2 ITS再生モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(※ マルチCD ② 33ページ)



3 ITS再生をONにする

セレクターを上にも操作する (下でOFF)



ITS再生が始まり、記憶させた曲だけが再生されます。

セレクターを押して、ファンクションモードを解除してください。



ITS再生中に表示されます。

メモ

- 手順1で選んだ再生範囲内に、記憶させた曲がない場合は、「IT Sempty」が約2秒間表示されて、ITS再生は行われません。

マルチCD

8

記憶させた曲を1曲ずつ記憶から消す

ITS消去(1曲ごと)

記憶させた曲を1曲ずつ消すことができます。

1 ITS再生をONにする

(☞ マルチCD⑦)

2 消去したい曲を再生する

セレクターを左右に操作する

(☞ ここだけで⑤ 21ページ)

3 ITS入力モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(☞ マルチCD② 33ページ)



4 消去する

セレクターを下に操作する



次に記憶されている曲

再生していた曲が記憶から消去され、次に記憶されている曲が再生されます。



セレクターを押して、詳細設定モードを解除してください。

メモ

- 現在の再生範囲内に記憶させた曲がなくなった場合は、“ITSempty”が約2秒間表示されて、ITS再生がOFFになります。

マルチCD

9

記憶させた曲をCDごとに記憶から消す

ITS消去(CDごと)

記憶させた曲をCDごとに消すことができます。

1 消去したいCDを再生する

セレクターを上下に操作する

(☞ ここだけで⑤ 20ページ)

ITS再生がONになっているときは、ITS再生をOFFにしてください。(☞ マルチCD⑦)

2 ITS入力モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(☞ マルチCD② 33ページ)



3 消去する

セレクターを下に操作する

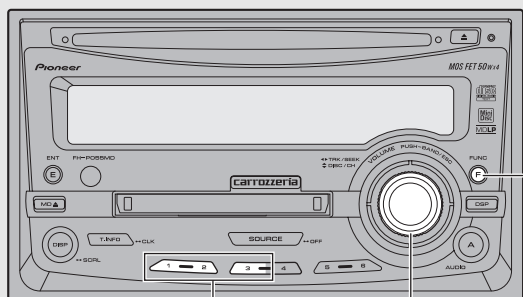


約2秒間表示され、消去したことを知らせます。



セレクターを押して、詳細設定モードを解除してください。

マルチCDでCDを聞く



1~3のボタン

ボリューム / セレクター

マルチCD 10 CDのタイトルを記憶させる

タイトル入力

CDのタイトルを表示させる (※ マルチCD 10 44ページ) ために、あらかじめタイトルを入力して記憶させておきます。

タイトル入力について

タイトル入力は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

CDにタイトルをつけるとタイトルリスト (※ マルチCD 10 43ページ) で聞きたいCDをさがすこともできます。

「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P670」など) では、「CD TEXT」にあらかじめ収録されているCDタイトルで同様にタイトルリストをすることができます。

- タイトルは8文字まで入力できます。
- 記憶はCDごとに行われます。CDを入れ替えても、そのCDの記憶は消えません。
- タイトルは、ITS (※ マルチCD 6 37ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。
- 100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

1 タイトルを入力したいCDを再生する

セレクターを上下に操作する
(※ ここだけで 20ページ)

2 タイトル入力モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(※ マルチCD 2 33ページ)



約2秒間表示されます。

ご注意

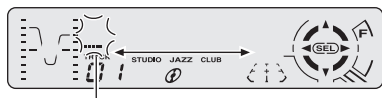
「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー (「CDX-P670」など) に「CD TEXT」をセットしているときは、タイトル入力モードには切り換わりません。(「CD TEXT」にあらかじめ収録されているCDタイトルは変更できません。)

3 タイトルを入力する

■入力する位置を選ぶとき

セレクターを左右に操作する

右：右に移動させるとき
左：左に移動させるとき



入力する位置でカーソルが点滅します。

■入力する文字を選ぶとき

セレクターを上下に操作する

上：次の文字を選ぶとき
下：前の文字を選ぶとき



選んだ文字が点滅します。

選べる文字は次のように切り換わります。

押すボタン	選べる文字
1ボタン (1ボタンを押すごとに切り換わります。)	アルファベットの小文字 (a~z)、空白 (_) アルファベットの太文字 (A~Z)、数字 (0~9)、記号 (!、#、&など) 空白 (_)
2ボタン	数字 (0~9)、記号 (!、#、&など)、空白 (_)
3ボタン (3ボタンを押すごとに切り換わります。)	カタカナ (ア~ン)、音引き (ー)、空白 (_) 拗促音 (ア、ヨ、ツなど)、濁点、半濁点、空白 (_)

4 入力が終わったら 8文字目を点滅させる



余ったところを空白にして、8文字目を点滅させます。

5 入力したタイトルを記憶する

セレクターを右に操作する



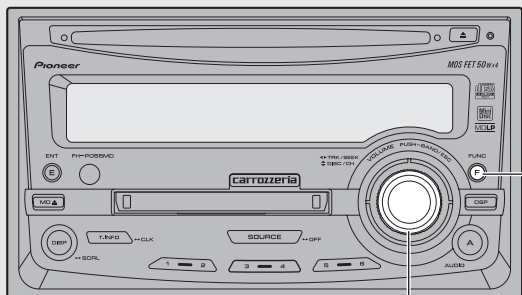
入力位置の点滅が終わり、入力したタイトルが記憶されます。



セレクターを押して、詳細設定モードを解除してください。

メモ

- タイトル入力中 (文字が点滅しているとき) にセレクターを押すと、詳細設定モードが途中で解除されます。(この場合、入力中のタイトルは記憶されません。)



ファンクション
FUNCTION ボタン

ボリューム / セクター

マルチCD 11 CDの音質を調整する

COMP / DBE

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりすることができます。

チェック ◆ COMP/DBE 機能の付いたマルチCD プレーヤーで操作できます。

COMP について

COMPとは、COMPRESSION (コンプレッション) の略です。コンプレッションは、大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞きとりにくいようなときにお使いになると便利です。

DBE について

DBEとは、Dynamic Bass Emphasis (ダイナミック バス エンファシス) の略です。DBEは、車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。

1 COMP 切り換えモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(マルチCD ② 33ページ)



ご注意

COMP/DBE 機能のないマルチCDを組み合わせたときは、“NO COMP”が表示されて、操作できません。

2 機能を選ぶ

セクターを上下に操作する

セクターを操作するごとに次のように切り換わります。

COMP OFF → COMP 1 → COMP 2
 ↑ ↓
 DBE 2 ← DBE 1 ← COMP OFF



現在のCOMP/DBEの状態が表示されます。

セクターを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

- COMP、DBEともに1より2の方が効果が大きくなります。

CD再生を一時停止する

ポーズ

CD再生を一時停止することができます。

1 ポーズモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(※ マルチCD ② 33ページ)



2 CD再生を一時停止する

セレクターを上にも操作する(下で再生)



セレクターを押して、ファンクションモードを解除してください。



一時停止中に表示されます。

タイトルを見て聞きたいCDをさがす

タイトルリスト

CDのタイトルを見ながら、聞きたいCDを選ぶことができます。

1 タイトルリストモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(※ マルチCD ② 33ページ)



約2秒間表示されます。

2 聞きたいCDを選ぶ

セレクターを左右にも操作する

右: 次のCDのタイトルを表示させるとき

左: 前のCDのタイトルを表示させるとき



CD番号が 記憶されているタイトルの点滅します。 5文字目まで表示されます。

3 選んだCDを再生する

セレクターを上にも操作する

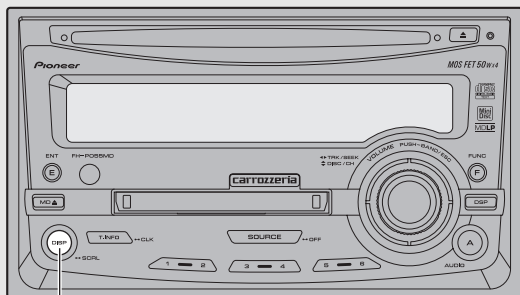


選んだCDが再生されます。

セレクターを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

- タイトルが入力されていないCDを選んだときは、CD番号だけが表示されます。



ディスプレイ
DISPLAY ボタン

マルチCD
14

CDのタイトルなどを表示させる

ディスクタイトル表示

タイトル入力 (☞ マルチCD 40ページ) で入力したCDのタイトルやスペアナを表示させることができます。

1 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

再生経過時間表示



ディスクタイトル (DISC TTL)



スペアナ表示 1



スペアナ表示 2



再生経過時間表示に戻る

メモ

- タイトルが入力されていないCDで表示を切り換えると、「NO TITLE」が表示されます。

マルチCD
15

「CD TEXT」のタイトルや歌手名を表示させる

タイトル表示 / タイトルスクロール

「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P670」など) に「CD TEXT」をセットしたとき、ディスクタイトルやトラックタイトルなどを表示させることができます。一度に8文字まで表示することができます。また、隠れている文字も順に表示させることができます。

チェック ◆ 「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P670」など) の機能です。

「CD TEXT」について

「CD TEXT」とは、CDのタイトル/歌手名/曲名などの文字情報が収録されたCDです。ディスクタイトル面に下記のマークのついているCDは、「CD TEXT」です。(下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。)



タイトル表示について

本機の「CD TEXT」文字表示は、英数字のみに対応しています。

表示切り換え

1 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

再生経過時間表示

↓
ディスクタイトル (DISC TTL)

↓
ディスクアーティストネーム (ART NAME)

↓
トラックタイトル (TRK TTL)

↓
トラックアーティストネーム (ART NAME)

↓
スペアナ表示 1

↓
スペアナ表示 2

↓
再生経過時間に戻る

メモ

- トラックアーティストネーム (歌手名) などが収録されていない CD で表示を切り換えると、“NO NAME” などが表示されます。

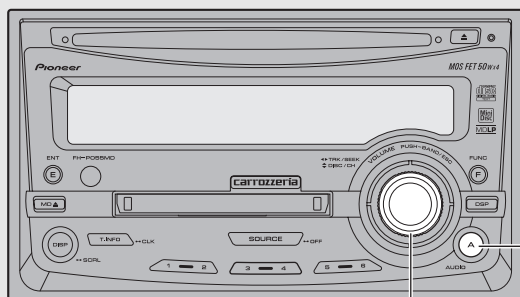
隠れている文字を表示する

1 隠れているタイトルを表示する

DISPLAY ボタンを 2 秒以上押す



隠れている文字が順番に表示されます。

オーディオ
AUDIO ボタン

ボリューム / セレクター

音の調節

1

オーディオ調節モードの切り換えかた

音を調節するときは、オーディオ調節モードを切り換えて操作します。RCA外部出力の設定 (☞ 便利な機能⑩ 70ページ) により、モードの切り換わり方が変わります。

RCA外部出力がサブウーファー出力“P/O:S/W”のとき

1

オーディオ調節モードを切り換える

AUDIO ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

音量バランス調節モード

(☞ 音の調節② 48ページ)

ラウドネスモード

(☞ 音の調節③ 49ページ)

サブウーファーモード

(☞ 音の調節④ 50ページ)

サブウーファー調節モード※1

(☞ 音の調節④ 50ページ)

サブウーファースロープ調節モード※1

(☞ 音の調節④ 50ページ)

ハイパスフィルターモード(フロント)

(☞ 音の調節⑤ 52ページ)

ハイパスフィルタースロープ

調節モード(フロント)※2

(☞ 音の調節⑤ 52ページ)

ハイパスフィルターモード(リア)

(☞ 音の調節⑤ 52ページ)

ハイパスフィルタースロープ

調節モード(リア)※3

(☞ 音の調節⑤ 52ページ)

音量バランス調節モードに戻る

メモ

- オーディオ調節モードを解除するには、セレクターを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)
- ※1 サブウーファーモード (☞ 音の調節④ 50ページ) をOFFにした場合は、サブウーファー調節モード、サブウーファースロープ調節モードには切り換わりません。
- ※2 ハイパスフィルターモード(フロント) (☞ 音の調節⑤ 52ページ) をOFFにした場合は、ハイパスフィルタースロープ調節モード(フロント)には切り換わりません。
- ※3 ハイパスフィルターモード(リア) (☞ 音の調節⑤ 52ページ) をOFFにした場合は、ハイパスフィルタースロープ調節モード(リア)には切り換わりません。

RCA外部出力がフル出力“P/O:FUL”のとき

1 オーディオ調節モードを切り換える

AUDIO ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

音量バランス調節モード

(音の調節② 48ページ)



ラウドネスモード

(音の調節③ 49ページ)



ノンフェーディングモード

(音の調節⑥ 54ページ)



ノンフェーディング調節モード※4

(音の調節⑥ 54ページ)



ハイパスフィルターモード(フロント)

(音の調節⑤ 52ページ)



ハイパスフィルタースローブ
調節モード(フロント)※2

(音の調節⑤ 52ページ)



ハイパスフィルターモード(リア)

(音の調節⑤ 52ページ)



ハイパスフィルタースローブ
調節モード(リア)※3

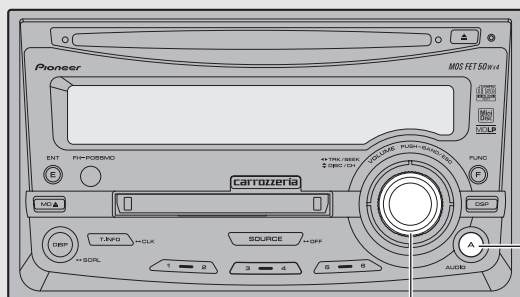
(音の調節⑤ 52ページ)



音量バランス調節モードに戻る

メモ

- オーディオ調節モードを解除するには、セレクターを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)
- ※2 ハイパスフィルターモード(フロント) (音の調節⑤ 52ページ) をOFFにした場合は、ハイパスフィルタースローブ調節モード(フロント)には切り換わりません。
- ※3 ハイパスフィルターモード(リア) (音の調節⑤ 52ページ) をOFFにした場合は、ハイパスフィルタースローブ調節モード(リア)には切り換わりません。
- ※4 ノンフェーディングモード (音の調節⑥ 54ページ) をOFFにした場合は、ノンフェーディング調節モードには切り換わりません。

オーディオ
AUDIO ボタン

ボリューム / セレクター

音の調節

2

前後左右の音量バランスを調節する

フェーダー / バランス

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節することができます。

1

音量バランス調節
モードにする

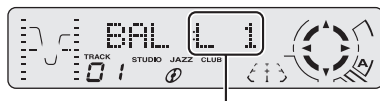
AUDIO ボタンを押して選ぶ
(音の調節① 46 ページ)



■左右を調節する

セレクターを左右に操作する

右：右を強めるとき
左：左を強めるとき



左右のバランスはL25～R25の範囲で調節
できます。

2

音量バランスを調節する

■前後を調節する

セレクターを上下に操作する

上：前を強めるとき
下：後ろを強めるとき



前後のバランスはF25～R25の範囲で調節
できます。

小音量時の音にメリハリをつける

ラウドネス

小さな音量で聞いているときの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

1 ラウドネスモードにする

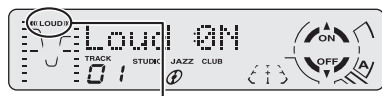
AUDIO ボタンを押して選ぶ

( 音の調節 46ページ)



2 ラウドネスをONにする

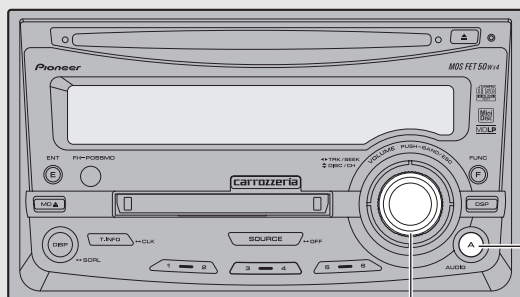
セレクターを上に表示する (下でOFF)



ラウドネスがONのときに表示されます。



セレクターを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

オーディオ
AUDIO ボタン

ボリューム / セレクター

音の調節

4

サブウーファーを使う

サブウーファー

本機では、RCA出力端子に接続したサブウーファーの調節を行うことができます。(この機能は、初期設定ではONになっています。)

位相切り換えについて

サブウーファーから出力される音の中には、フロント/リアスピーカーから出力される音と同じ周波数帯域のものが含まれています。車内条件により、これらの音の位相どうしが反転（干渉）すると、その周波数帯域が打ち消し合ってしまうことがあります。この現象を防ぐものが、サブウーファーの位相切り換えです。車内条件によって、位相の正相（フロント/リアスピーカーと同時に出力される）が良いか、逆相（フロント/リアスピーカーとタイミングをずらして出力される）が良いかを選んで設定してください。

カットオフ周波数について

50、63、80、100、125 (Hz) から選んだ周波数以下の音域がサブウーファーから出力されます。

スロープについて

スロープ（減衰の傾き）を調節することにより、サブウーファーとフロント/リアスピーカーの音のつながりを調整することができます。

1 サブウーファーモードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ

(E音の調節① 46ページ)



2 サブウーファーをONにする

セレクターを上に表示する（下でOFF）



サブウーファーがONのときに表示されます。

3 位相を切り換える

セレクターを左右に操作する

右：Phase:NOR (正相)
左：Phase:REV (逆相)



REVとNORに切り換えることができます。

4 サブウーファー調節モードにする

AUDIO ボタンを押す



5 カットオフ周波数とレベルを調節する

■周波数を選ぶとき

セレクターを左右に操作する

右：高い周波数を選ぶとき
左：低い周波数を選ぶとき

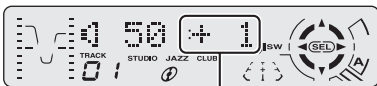


50、63、80、100、125 (Hz) の中から選ぶことができます。

■レベルを調節するとき

セレクターを上下に操作する

上：レベルを大きくするとき
下：レベルを小さくするとき



レベルは-24～+6の範囲で調節できます。

6 サブウーファースロープ調節モードにする

AUDIO ボタンを押す



7 スロープを調節する

セレクターを左右に操作する

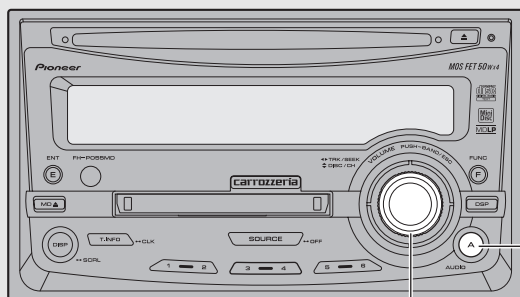
右：18 (dB/oct.)
左：12 (dB/oct.)



↓
セレクターを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

メモ

- RCA外部出力の設定 (便利機能 70 ページ) を“P/O :FUL”にした場合は、サブウーファースロープ調節はできません。
- サブウーファー機能をOFFにした場合は、サブウーファー調節モード、サブウーファースロープ調節モードには切り換わりません。

オーディオ
AUDIO ボタン

ボリューム / セクター

音の調節

5

低い音をスピーカーから出力させないようにする

ハイパスフィルター (HPF)

ハイパスフィルターをONにすると、選んだ周波数より低い周波数の音が各スピーカーから出力されなくなります。

ハイパスフィルター (HPF) について

ハイパスフィルターは、設定した周波数から下の音域（低域）をカットして、高域を通すフィルターです。ハイパスフィルターをONにすることにより、サブウーファーとの音のつながりを調節することができます。フロントスピーカーとリアスピーカーで別々に調節することができます。

カットオフ周波数について

50、63、80、100、125 (Hz) から選んだ周波数より高い音域が各スピーカーから出力されます。

スロープについて

スロープ（減衰の傾き）を調節することにより、サブウーファーとフロント/リアスピーカーの音のつながりを調整することができます。

1 ハイパスフィルターモードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ

(音の調節① 46ページ)

F-HPF：フロントスピーカーを調節するとき
R-HPF：リアスピーカーを調節するとき



2 ハイパスフィルターをONにする

セクターを上に乗る (下でOFF)



3 ハイパスフィルターの カットオフ周波数を選ぶ

セレクターを左右に操作する

右：高い周波数を選ぶとき
左：低い周波数を選ぶとき



50、63、80、100、125 (Hz) の中から選ぶことができます。

選んだ周波数より高い周波数の音だけが、各スピーカーから出力されます。

4 ハイパスフィルタースロープ 調節モードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ

(音の調節 46 ページ)

F-SLP：フロントスピーカーを調節するとき
R-SLP：リアスピーカーを調節するとき



5 スロープを調節する

セレクターを左右に操作する

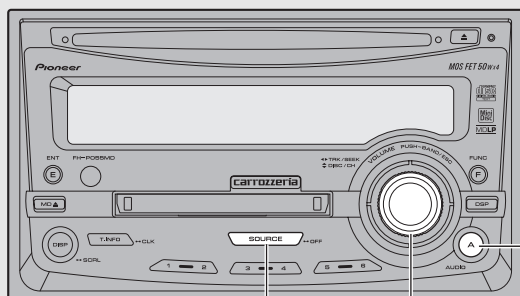
右：6 (dB/oct.)
左：12 (dB/oct.)



セレクターを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

メモ

- ハイパスフィルター機能を OFF にした場合は、ハイパスフィルタースロープ調節モードには切り換わりません。



ソース

SOURCE ボタン

ボリューム / セレクター

オーディオ
AUDIO ボタン

音の調節

6

外部アンプなどでサブウーファーを調節する

ノンフェーディング

本機のローパスフィルター（サブウーファー）を通さずに、原音のままRCA出力から音声信号を出力することができます。また、その出力レベルを調節することもできます。

1 ノンフェーディングモードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ
(音の調節① 46ページ)



2 ノンフェーディングをONにする

セレクターを上にも操作する（下でOFF）



3 ノンフェーディング調節モードにする

AUDIO ボタンを押す



4 レベルを調節する

セレクターを上下に操作する

上：レベルを大きくするとき

下：レベルを小さくするとき



−24～+6の範囲で調節できます。



セレクターを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

メモ

- RCA外部出力の設定 (便利な機能⑩ 70ページ) をサブウーファーにした場合は、ノンフェーディングの調節はできません。
- ノンフェーディングをOFFにした場合は、ノンフェーディング調節モードには切り換わりません。

各ソースの音量の違いをそろえる

SLA

ソースを切り換えたとき音量に違いが出ないように、FMの音量を基準にして各ソースの音量の違いをそろえることができます。

1 FM放送を受信し、FMの音量を確かめる

SOURCE ボタンを押す
(☞ ここだけで④ 18ページ)

2 調節したいソースに切り換える

SOURCE ボタンを押す
(☞ ここだけで① 12ページ)

3 SLAモードにする

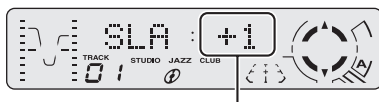
AUDIO ボタンを2秒以上押す



4 レベルを調節する

セレクターを上下に操作する

上：レベルを大きくするとき
下：レベルを小さくするとき



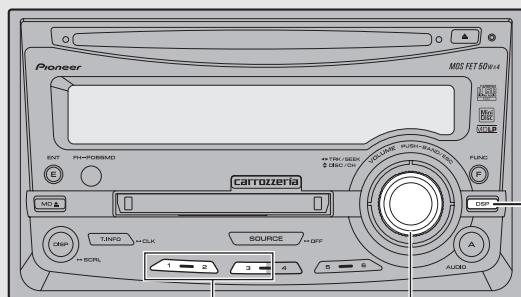
−4～+4の範囲で調節できます。



セレクターを押して、SLAモードを解除してください。

メモ

- SLAとはSource Level Adjuster (ソースレベルアジャスター) の略です。
- FMの音量を基準に他のソースとの音量差を調節するため、FMを聞いているときは、SLAモードに切り換えることはできません。
- AM、テレビ、CD、MD、AUX (外部機器)、エクスターナルユニットのそれぞれの音量差を調節することができます。なお、内蔵CDとマルチCD、エクスターナル1とエクスターナル2、およびAMと交通情報 (☞ 便利な機能⑨ 65ページ) は同じ設定になります。



ディーエスピー
DSP ボタン

1~3のボタン

ボリューム / セレクター

DSP 調節

1

DSP 調節モードの切り換えかた

DSPの機能を使って音場と音質を調節するときは、DSP調節モードに切り換えて操作します。

1 DSP 調節モードを切り換える

DSP ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

SFCモード

(DSP 調節②)

グラフィックイコライザーモード

(DSP 調節③ 58ページ)

イコライザー調節モード

(DSP 調節⑤ 60ページ)

リスニングポジションセレクターモード

(DSP 調節⑥ 62ページ)

SFCモードに戻る

メモ

- DSP 調節モードを解除するには、セレクターを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

SFCで実際にその演奏会場にいるかのようなリアルな音場を再現することができます。

SFC について

SFCとはSound Field Control (サウンドフィールドコントロール)の略です。SFCは、車室内にリアルな音場を再現することができます。StudioやClubなど、3つの音場空間を再現するプログラムが用意されています。

1 SFCモードにする

DSP ボタンを押して選ぶ

( DSP調節①)



2 音場プログラムを選ぶ

■順番に呼び出す

セレクターを左右に操作する

セレクターを操作するごとに次のように切り換わります。

SFC OFF ← Studio (1のボタン)

↓ ↓
Club (3のボタン) ← JazzClub (2のボタン)

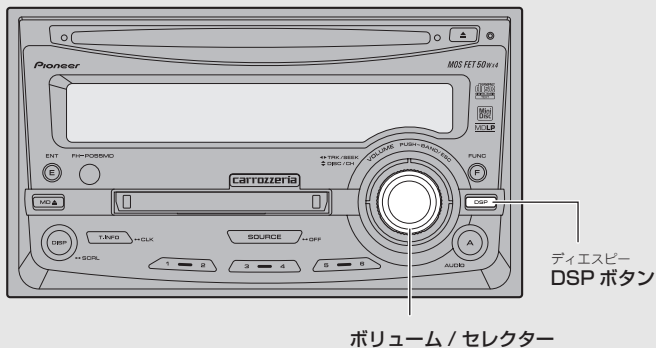
■直接呼び出す

1～3のボタンを押す (同じボタンをもう一度押すとOFF)



音場プログラムを選ぶと枠が表示されます。

↓
セレクターを押して、DSP調節モードを解除してください。



DSP 調節 3 音楽に合った音質を設定する

グラフィックイコライザー

あらかじめ用意されたイコライザーカーブの中からお好みのイコライザーカーブを選ぶことができます。

CTM (CUSTOM) について

“CTM1”と“CTM2”は、お好みに合わせて調節することができます。

(DSP 調節 60 ページ)

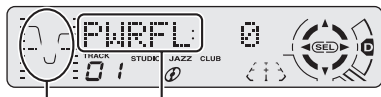
FLAT について

イコライザーによる音の補正はされていません。設定したイコライザーカーブと交互に切り換えることで、設定したイコライザーカーブの効果を確認することができます。

1 グラフィックイコライザーモードにする

DSP ボタンを押して選ぶ

(DSP 調節 56 ページ)

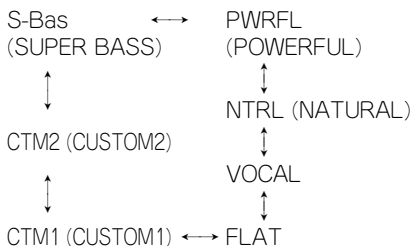


現在のイコライザーカーブが表示されます。

2 イコライザーカーブを切り換える

セレクターを左右に操作する

セレクターを操作するごとに次のように切り換わります。



セレクターを押して、DSP 調節モードを解除してください。

メモ

- 交通情報 (便利な機能 65 ページ) を受信しているときは、イコライザーカーブを選ぶことはできません。

イコライザーカーブを大まかに補正する

ニュアンスコントロール

呼び出したイコライザーカーブは、全体的なバランスはくずさず、大まかに強めたり弱めたりすることができます。

1 グラフィックイコライザーモードにする

DSP ボタンを押して選ぶ

(DSP調節① 56ページ)

2 補正したいイコライザーカーブに切り換える

(DSP調節②)

セレクターを左右に操作する

ご注意

FLATおよび、すべての周波数が“0”に設定されているCUSTOM1、2を補正することはできません。

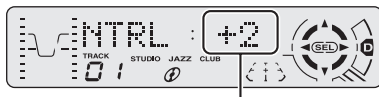


3 イコライザーカーブを補正する

セレクターを上下に操作する

上：効果を強めるとき

下：効果を弱めるとき

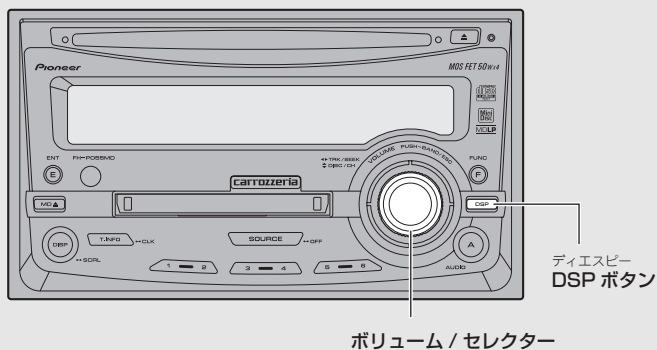


−5～+6の範囲で調節できます。

(S-BasとCTM1、2は−6～+6の範囲で調節できます。ただし、CTMに記憶されているカーブによっては、調節できる範囲が狭くなることがあります。)



セレクターを押して、DSP調節モードを解除してください。



DSP 調節

5

イコライザーカーブを細かく調節する

イコライザー調節

お好みに合わせてイコライザーカーブの周波数レベルを細かく調節することができます。調節した内容は自動的に記憶されます。

CTM1 について

“CTM1”には、お好みに合わせて調節したイコライザーカーブがソースごとに記憶されます。(内蔵CDとマルチCD、およびエクスターナル1とエクスターナル2は同じ設定になります。)また、一度も調節をしていないソースでは、最後に他のソースで調節した内容が呼び出されます。

“CTM2”以外のカーブを選んでいるときに調節すると、調整したカーブが“CTM1”に記憶されます。

CTM2 について

“CTM2”は、すべてのソースに共通したイコライザーカーブで、お好みに合わせて調節することができます。

“CTM2”を選んでいるときに調節すると、調節したカーブが新しい“CTM2”として記憶されます。

1 グラフィックイコライザーモードにする

DSP ボタンを押して選ぶ

(☞ DSP 調節① 56ページ)



2 調節したいイコライザーカーブを選ぶ

セレクターを左右に操作する

(☞ DSP 調節③ 58ページ)



3 イコライザー調節モードにする

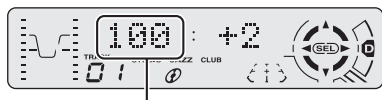
DSP ボタンを押す



4 各周波数ごとのレベルを調節する

■周波数を選ぶ

セレクターを左右に操作する



周波数は、次の中から選べます。

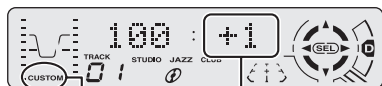
50、100、200、400、800、1.6k、3.15k、6.3k、12.5k (Hz)

■レベルを調節する

セレクターを上下に操作する

上：効果を強めるとき

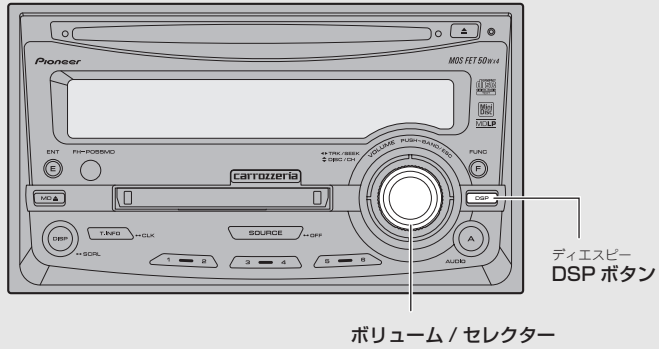
下：効果を弱めるとき



“CUSTOM” が表示されます。 レベルは-6～+6の範囲で調節できます。



セレクターを押して、DSP 調節モードを解除してください。



DSP 調節 6 音場の中心で聞く

リスニングポジションセレクター

乗車位置や人数に合わせて、聞く位置を選ぶことができます。

リスニングポジションセレクターについて



リスニングポジションセレクターは、座席位置や人数に合わせて、自動的に各スピーカーから出る音の遅延時間とレベルが調節される機能です。この機能により、どの座席位置でも自然な音響特性が得られます。

乗車位置について



Front-R



Front-L



Front



All

表示	乗車位置
Front-R	右ハンドル車に運転者のみがいるとき
Front-L	左ハンドル車に運転者のみがいるとき
Front	同乗者が助手席にいるとき
All	同乗者が後部座席にいるとき

1 リスニングポジションセクターモードにする

DSP ボタンを押して選ぶ

( DSP 調節① 56 ページ)



2 乗車位置を選ぶ

セクターを上下左右に操作する

セクターを同じ方向に操作するごとに ON/OFF します。

右 : Front-R

左 : Front-L

上 : Front

下 : All




選んだ乗車位置
が表示されます。

ポジション
マークが表示
されます。

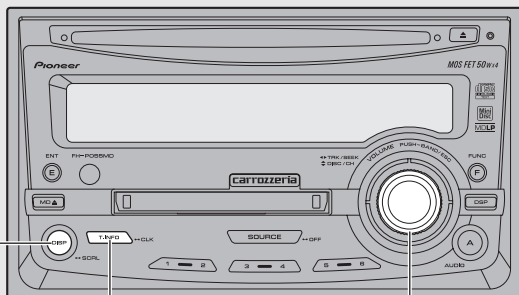


セクターを押して、DSP 調節モードを解除してください。

メモ

- リスニングポジションごとに、音量バランス ( 音の調節② 48 ページ) を記憶させることができます。

ディスプレイ
DISPLAY ボタン



トラフィックインフォメーション
T.I. ボタン

ボリューム / セレクター

便利な機能

1

瞬時に音量を小さくする

アッテネーター

車内の会話が聞き取りにくいときに、瞬時に音量を小さくすることができます。

1 瞬時に音量を小さくする

リモコンのATT ボタンを押す

(はじめに① 7ページ)

ボタンを押すごとにON/OFFします。



アッテネーターがONのときに点滅します。

アッテネーターがONのときは、音量が約1/10になります。

便利な機能

2

時計を表示させる

時計表示

本機の電源がONのとき、または電源がOFFでデモモード (はじめに⑩ページ) を解除しているときに、時計を表示させることができます。

1 時計を選ぶ

T.I. ボタンを2秒以上押す

ボタンを2秒以上押すごとにON/OFFします。



メモ

- 本体の電源がONの場合は、時計表示のときに他の操作をすると、時計表示は一度解除されますが、約25秒後にもとの表示に戻ります
- 時計を合わせるには (便利な機能⑥ 67ページ)

交通情報を受信する

トラフィックインフォメーション

AM 1,620 kHz または 1,629 kHz の交通情報を、簡単に受信することができます。

1 交通情報を受信する

T.I ボタンを押す



交通情報を受信します。

2 放送に合わせて周波数を切り換える

セレクターを左右に操作する

右：1,629 kHz にするとき

左：1,620 kHz にするとき



受信周波数

3 交通情報の受信をやめる

T.I ボタンを押す

交通情報を受信する前の状態に戻ります。

メモ

- この機能は、電源がOFF のときでも、どのソースからでも操作できます。
- 交通情報を受信しているときに音量を調節すると、交通情報用の音量として設定することができます。
- 交通情報を受信すると、SFC (DSP 調節 2 57 ページ) がOFF になり、イコライザーカーブは交通情報用になります。交通情報の受信をやめるとSFC およびイコライザーカーブは、もとの状態に戻ります。
- DISPLAY ボタンを押すごとに、次のように表示が切りかわります。
受信周波数 → スペアナ表示 1 → スペアナ表示 2 → 受信周波数に戻る

よく使う機能を直接操作する

ダイレクトファンクション

リモコンのDF ボタンを押すと、よく使う機能をソースごとに直接操作することができます。内蔵CD/MD・マルチCD でポーズ、ラジオでBSM、テレビでBSSM を操作することができます。

内蔵CD/MD、マルチCD のとき

1 再生を一時停止する

リモコンのDF ボタンを押す

(☞ はじめに 1 7 ページ)

ボタンを押すごとに機能がON/OFF します。

(☞ CD/MD 1 22 ページ、マルチCD 10 43 ページ)

ラジオのとき

1 BSM を始める

リモコンのDF ボタンを2秒以上押す

(☞ はじめに 1 7 ページ)

BSM が始まります。

(☞ ラジオ 4 29 ページ)

メモ

- BSM 中にリモコンのDF ボタンを押すことで、BSM を途中解除することもできます。

テレビのとき

1 BSSM を始める

リモコンのDF ボタンを2秒以上押す

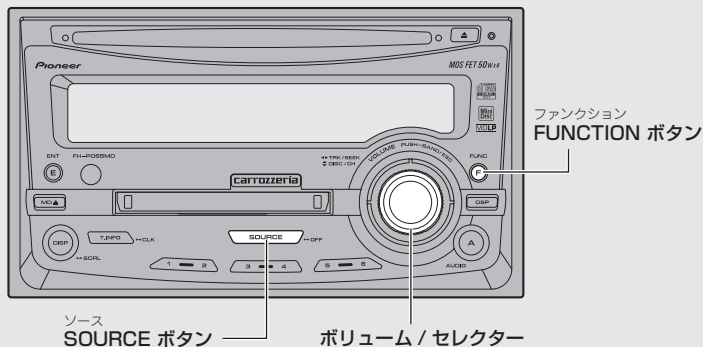
(☞ はじめに 1 7 ページ)

BSSM が始まります。

(☞ テレビの取扱説明書)

メモ

- BSSM 中にリモコンのDF ボタンを押すことで、BSSM を途中解除することもできます。



便利な機能

5

初期設定モードの切り換えかた

外部機器やディマーの設定をするときは、初期設定モードを切り換えて操作します。

1 電源を OFF にする

SOURCE ボタンを 1 秒以上押す
(☞ ここだけで① 12 ページ)

2 初期設定モードにする

電源が OFF のときに FUNCTION ボタンを 2 秒以上押す

3 初期設定モードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

時計調節モード
(☞ 便利な機能⑥)

↓
AUX (外部機器) モード
(☞ 便利な機能⑦ 68 ページ)

↓
ディマーモード
(☞ 便利な機能⑨ 69 ページ)

RCA 外部出力モード
(☞ 便利な機能⑩ 70 ページ)

↓
デジタルアッテネーターモード
(☞ 便利な機能⑪ 71 ページ)

↓
時計調節モードに戻る

メモ

- 初期設定モードを解除するには、セレクターを押します。(解除すると、電源が OFF になります。)

時計を合わせることができます。

1 時計調節モードにする

電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押して、時計調節モードを選ぶ

(便利な機能⑥)



2 時計の設定をする

■時、分を選ぶ

セレクターを左右に操作する



操作することにより時、分が切り換わります。

■時刻を合わせる

セレクターを上下に操作する

上：時刻を進めるとき

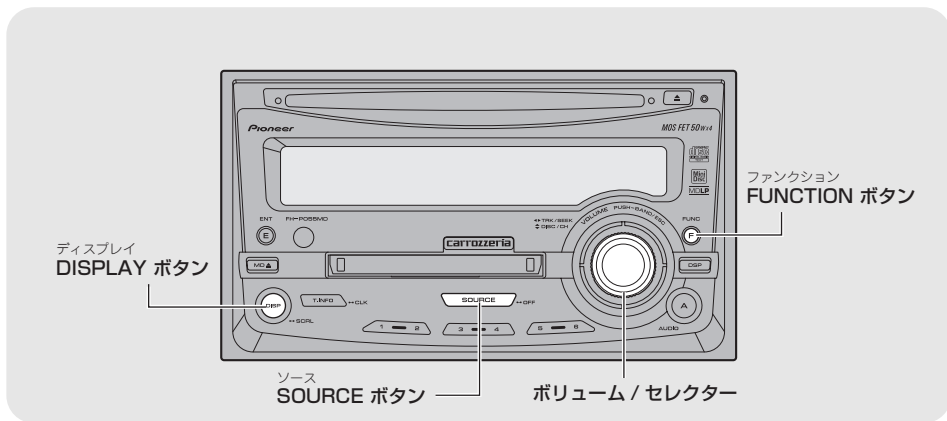
下：時刻を戻すとき



時または分を調節すると、0秒からカウントが始まります。



セレクターを押して、初期設定モードを解除してください。



便利な機能 7 外部機器の音声を聞く

AUX (外部機器) の設定

本機にDATやVTRなどの外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。

外部機器との接続について

別売のRCA/IP-BUSインターコネクター「CD-RB20」または「CD-RB10」を使うと、RCA出力のあるDATやVTRを、外部機器として本機に接続することができます。詳しくは、RCA/IP-BUSインターコネクターの説明書をご覧ください。

1 AUX (外部機器) モードにする

電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ

(☞ 便利な機能 66 ページ)



2 AUX (外部機器) の設定をONにする

セレクターを上にも操作する (下でOFF)



セレクターを押して、初期設定モードを解除してください。

3 ソースをAUXにする

SOURCE ボタンを押す

(☞ ここだけで 12 ページ)



ソースをAUXに切り換えると、外部機器の音声が出力されます。

外部機器の名称を入力する

接続した外部機器の名称を入力することができます。

1 ソースを AUX にする

SOURCE ボタンを押す

(☞ ここだけで① 12 ページ)



2 外部機器の名称入力モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押す



約2秒間表示されます。

3 外部機器の名称を入力し、記憶させる

CD タイトル入力の手順3～5を参照し、同様の操作で外部機器の名称を記憶させてください。(☞ マルチ CD ⑩ 40 ページ)

例) “DAT” を入力した場合



“AUX” の表示のかわりに、入力した名称が表示されます。

メモ

- DISPLAY ボタンを押すごとに、次のように表示が切り換わります。
外部機器名称 → スペアナ表示1 → スペアナ表示2 → 外部機器名称に戻る

夜間のディスプレイの明るさを切り換える

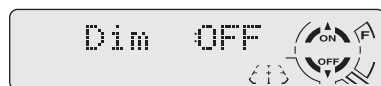
ディマー

夜間、周囲が暗くなったときにディスプレイがまぶしくならないように、車のライトをONにするとディマーが働き、ディスプレイが暗くなるように設定できます。

1 ディマーモードにする

電源がOFFのときにFUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(☞ 便利な機能⑤ 66 ページ)



2 ディマーの設定をONにする

セレクターを上にも操作する (下でOFF)

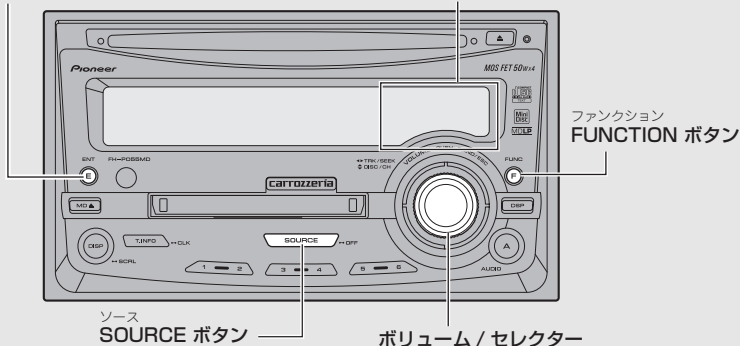


セレクターを押して、初期設定モードを解除してください。

エンタテインメント

ENTERTAINMENT ボタン

エンタテインメントディスプレイ



便利な機能

10

RCA 外部出力から出力される信号を選ぶ

本機のRCA外部出力に外部アンプを接続してサブウーファーを使用する場合、本機でサブウーファーを調節するか、外部アンプでサブウーファーを調節するために原音のまま出力するかを選ぶことができます。

1 RCA 外部出力モードにする

電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ

(☞ 便利な機能⑥ 66ページ)



2 出力方法を設定する

セレクターを左右に操作する

右：(FUL) 原音のまま出力するとき (フル出力)

左：(S/W) 本機でサブウーファーを調節するとき (サブウーファー出力)



セレクターを押して、初期設定モードを解除してください。

メモ

- 出力方法を“FUL”に設定したときは、ノンフェーディングの設定 (☞ 音の調節⑥ 54ページ) をしてください。
- 出力方法を“S/W”に設定したときは、サブウーファーの設定 (☞ 音の調節④ 50ページ) をしてください。

音の歪みを補正する

デジタルアッテネーター

イコライザーカーブの設定 (E DSP調節 60 ページ) による音の歪みをなくすことができます。

デジタルアッテネーターについて

イコライザーカーブの設定でレベルを高く設定した周波数の音域が歪むことがあります。イコライザーカーブの設定で音が歪んだように感じたときは、デジタルアッテネーターの設定をLOWに切り換えてください。

1 デジタルアッテネーターモードにする

電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ

(E 便利な機能 66 ページ)



2 設定を選ぶ

セレクトターを左右に操作する

右：HI を選ぶとき

左：LOW を選ぶとき



セレクトターを押して、初期設定モードを解除してください。

エンタテインメント表示を切り換える

エンタテインメント表示

各ソースを聞いているときに、エンタテインメントディスプレイの表示を切り換えることで、いろいろな表示を楽しむことができます。

1 聞きたいソースを選ぶ

SOURCE ボタンを押す

(E ここだけで 12 ページ)

スピーカーから音が出力されている状態にします。

2 エンタテインメント表示を切り換える

ENTERTAINMENT ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

レベルインジケーター 1



レベルメーター



レベルインジケーター 2



エンタテインメント表示 1



エンタテインメント表示 2



レベルインジケーター 1 (反転)



レベルメーター (反転)



レベルインジケーター 2 (反転)



エンタテインメント表示 1 (反転)



エンタテインメント表示 2 (反転)



オフ



レベルインジケーター 1に戻る

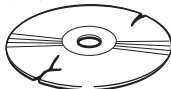
CDの正しい使いかた

使用できるCDについて

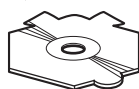
- 下記マークの付いているコンパクトディスク（光学式デジタルオーディオディスク）をご使用ください。



- 本機は音楽CD規格に準拠して設計されています。コピーコントロールCDなどのCD規格外ディスクの動作保証及び性能保証は致しかねます。
- ひび、キズ、そりのあるCDは使用しないでください。



- 特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



- 音楽用CDレコーダーまたはパソコンで記録したCD-R/CD-RWディスクは、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定および環境によって再生できないことがあります。（詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください。）

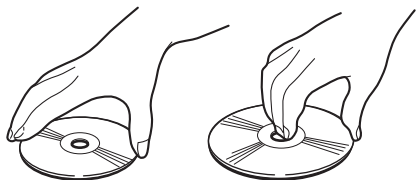
- 直射日光や高温等、車内での保管状況により、CD-R/CD-RWディスクは再生できなくなる場合があります。
- CD-R/CD-RWディスクに記録されているタイトルなどの文字情報は、本機では表示されない場合があります。
- 本機はCD-R/CD-RWディスクのトラックスキップ機能に対応しています。スキップ指定された曲を飛ばして再生します。
- ファイナライズされていないCD-R/CD-RWディスクには対応していません。
- CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかります。
- CD-R/CD-RWディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。

メモ

- 製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

取り扱い上のご注意

- CDは、下図のように、信号記録面（虹色に光っている面）をさわらないように持ってください。

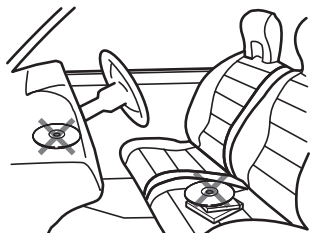


- CDにキズを付けないでください。
- CDにシールなどを貼り付けしないでください。



保管上のご注意

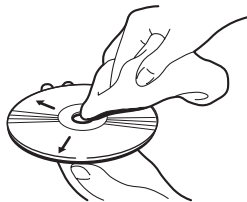
- 直射日光の当たるところや高温になるところには、CDを保管しないでください。



- CDがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

お手入れについて

- CDが汚れたときは、柔らかいきれいな布でCDの内周から外周方向へ軽くふいてください。



- アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。またベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



CD再生の環境について

- 走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。
- 寒いとき、ヒーターを入れた直後にCD再生を始めると、本機内部の光学系レンズやCDに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。
このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。CDに付いた露は柔らかい布でふいてください。

MDの正しい使いかた

使用できるMDについて

- 下記マークの付いているMD(ミニディスク)をご使用ください。



- 音楽用以外のMDは使用しないでください。故障の原因になります。

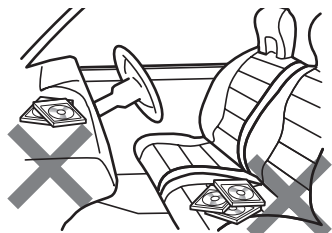
取り扱い上のご注意

- MDのシャッターを手であけないでください。無理にあげるとこわれることがあります。



保管上のご注意

- MDは、直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。



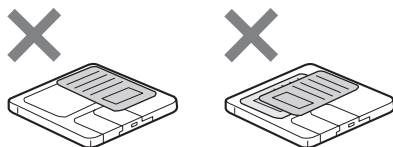
寒いときの結露について

- 寒いとき、ヒーターを入れた直後にMDの再生を始めると、本機内部の光学系レンズやMDに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。

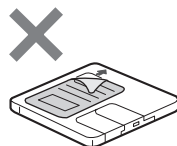
このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。MDのカートリッジ表面に付いた露は柔らかい布で拭いてください。

ラベルについて

- MDに付属のラベルは、必ず指定の位置に貼ってください。指定以外の位置に貼ったり、2枚重ねて貼ったりすると、MDが取り出せなくなることがあります。



- ラベルがめくれたり、浮いたりしたMDは使用しないでください。ラベルが引っかかり、MDが取り出せなくなります。このようなMDは新しいラベルに貼り換えてからお使いください。



お手入れについて

- MDのカートリッジ表面が汚れたときは、柔らかいきれいな布で軽く拭いてください。
- MDにベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



- MD用クリーニングディスクを使用するときは、クリーニングディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。クリーニングディスクによっては製品の故障の原因になる場合があります。

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

故障かな?と思ったら

故障かな?と

と思ったら

修理を依頼される前に、次の表の内容をチェックしてください。

チェックしても

直らないときは

本機をリセットしてください。(☞ はじめに④ 11 ページ)

それでも

直らないときは

保証書とアフターサービス (☞ その他③ 75ページ)をお読みになり、修理を依頼してください。

■ 共通項目

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクタが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。 (☞ 取付説明書)
	ヒューズが切れている	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のものと交換してください。(☞ 取付説明書)
音が出ない。 音が小さい。	音量を下げています。	音量を上げてください。 (☞ ここだけで②③④⑤ 15、17、19、21 ページ)
	アッテネーターがONになっている。	アッテネーターを解除してください。 (☞ 便利な機能① 64 ページ)
	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節② 48 ページ)
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節② 48 ページ)
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節② 48 ページ)

■ CD

症 状	原 因	処 置
CD再生中、大きな雑音が出る。 CDの再生が途中で止まる。	CDに大きなキズやそりがある。	他のCDと交換してください。良くなればCDの不良です。
	CDが極端に汚れている。	CDの汚れをふき取ってください。 (☞ その他① 73ページ)
	CDに曇りや水滴が付いている。	CDの曇りや水滴をふき取ってください。 (☞ その他① 73ページ)
	CDの裏表を逆にしてセットしている。	CDのタイトル面を上にしてセットしてください。(☞ ここだけで② 14ページ)

■ MD

症 状	原 因	処 置
MD再生中、大きな雑音が出る。 MDの再生が途中で止まる。 MDが自動的に出てくる。	MDが極端に汚れている。	MDを交換してください。
	MDに曇りや水滴がついている。	
	MDが正しい方向に挿入されていない。	MDを取り出し、正しい方向に挿入してください。(☞ ここだけで③ 16ページ)


■ ラジオ

症 状	原 因	処 置
ラジオの受信中、“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください。 (☞ ここだけで④ 19ページ)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。 (☞ ここだけで④ 19ページ)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。 (☞ ここだけで④ 19ページ)

こんなメッセージが表示されたら

CDのエラー表示

CDを正常に再生できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処 置
「ERROR-11」 「ERROR-12」 「ERROR-17」 「ERROR-30」	CDが汚れているとき。	CDの汚れをふき取ってください。 ( その他① 73ページ)
	CDにキズやひびがあるとき。	CDを交換してください。
「ERROR-14」	CD-R/CD-RWを録音しないまま使用しているとき。	CD-R/CD-RWは、録音してからお使いください。
「ERROR-10」 「ERROR-11」 「ERROR-12」 「ERROR-14」 「ERROR-17」 「ERROR-30」 「ERROR-50」 「ERROR-A0」	電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、CD再生を一度やめてから、もう一度CD再生にしてください。
「ERROR-44」	すべての曲がトラックスキップ指定されているとき。	CDを交換してください。

メモ

- マルチCD再生中に、上記以外のエラーメッセージが表示されたときは、マルチCDの取扱説明書をご覧ください。

MDのエラー表示

MDを正常に再生できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処 置
「TEMP」	本機の内部温度に異常があるとき。	本機が正常に動作する温度になるまでお待ちください。
「ERROR-11」 「ERROR-12」 「ERROR-17」 「ERROR-30」	MDが汚れているとき。 MDにキズやひびがあるとき。	他のMDと交換してください。
「ERROR-20」 「ERROR-21」	振動などが原因で曲の情報を 読み取れなかったとき。 MDに異常（損傷している、 TOCが入っていないなど）が あるとき。	MDを取り出し、もう一度入れ直して ください。それでも同じメッセー ジが表示される場合は、他のMDと 交換してください。
「ERROR-22」 「ERROR-24」	MDに異常（損傷している、 TOCが入っていないなど）が あるとき。	他のMDと交換してください。
「ERROR-23」	音楽以外の情報が記録された MDを使用したとき。	音楽が録音されたMDを使用してくだ さい。
「ERROR-01」 「ERROR-11」 「ERROR-12」 「ERROR-17」 「ERROR-30」 「ERROR-A0」	本機の電気系、機構系の故障 が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFに してからONにするか、MD再生を一 度やめて、もう一度MD再生にして ください。
「ERROR-A1」	本機の電気系、機構系の故障 が考えられるとき。	MD再生を一度やめて、リセットボタ ンを押して (☞ はじめに④ 11ページ) もう一度MD再生にしてください。
「ERROR」	MDが何らかの原因で再生し ないとき。	他のMDと交換してください。 リセットボタンを押してください。 (☞ はじめに④ 11ページ)
「Blank MD」	何も録音されていないMDを 挿入したとき。	他のMDと交換してください。

TOCについて

- TOC (Table Of Contents) とは、CD・MD・DATなどに収録されている曲数、演奏時間、タイトルなどの音声信号以外の情報のことです。

■ アンプ・オーディオ部

最大出力 : 50 W × 4
 定格出力 : 22 W × 4
 (50~15,000 Hz、5% THD)

9バンド

イコライザー

周波数: 50 Hz、100 Hz、200 Hz、
 400 Hz、800 Hz、1.6 kHz
 3.15 kHz、6.3 kHz、12.5 kHz

9バンド

イコライザー

調整幅: ±12 dB

ネットワーク

ハイパス

フィルター: 周波数: 50/63/80/100/125 Hz
 スロープ: -6 dB/oct、
 -12 dB/oct.

サブウーファー

出力: 周波数: 50/63/80/100/125 Hz
 スロープ: -12 dB/oct、
 -18 dB/oct.
 調整幅: -24 dB ~ +6 dB
 位相: NOR (正相)/REV (逆相)

ラウドネス

コンター: 10 dB (100 Hz)、
 7 dB (10 kHz)
 (ボリューム: -30 dB)

負荷

インピーダンス: 4 Ω (4~8 Ω 使用可能)

プリアウト

最大出力レベル: 1.8 V

出カインピー

ダンス: 1 k Ω

■ CD プレーヤー部

形式 : コンパクトディスク
 オーディオシステム

使用ディスク : コンパクトディスク
 信号

フォーマット: サンプル周波数: 44.1 kHz
 量子化ビット数: 16ビット直線

周波数特性 : 5~20,000 Hz (±1 dB)

S/N : 94 dB (1 kHz)
 (IHF-A ネットワーク)

ダイナミック

レンジ: 92 dB (1 kHz)

チャンネル数 : 2 (ステレオ)

■ MD プレーヤー部

形式 : ミニディスクデジタル
 オーディオシステム

使用ディスク : ミニディスク
 信号

フォーマット: サンプル周波数: 44.1 kHz
 量子化ビット数: 16ビット直線

周波数特性 : 20~20,000 Hz (±1 dB)

S/N : 90 dB (1 kHz)
 (IHF-A ネットワーク)

ダイナミック

レンジ: 90 dB (1 kHz)

チャンネル数 : 2 (ステレオ)

■ FMチューナー部

受信周波数帯域 : 76.1 ~ 89.9 MHz
実用感度 : 8 dBf (0.7 μ V/75 Ω 、
モノラル、S/N : 30 dB)
S/N 50 dB
感度 : 10 dBf
(0.9 μ V/75 Ω 、モノラル)
S/N : 75 dB (IHF-A ネットワーク)
高調波歪率 : 0.3 %
(65 dBf入力、1 kHz、ステレオ)
0.1 %
(65 dBf入力、1 kHz、モノラル)
周波数特性 : 30 ~ 15,000 Hz (\pm 3 dB)
ステレオ
セパレーション : 45 dB (65 dBf入力、1 kHz)

■ AMチューナー部

受信周波数帯域 : 522 ~ 1,629 kHz (9 kHz)
実用感度 : 18 μ V (S/N : 20 dB)
S/N : 65 dB (IHF-A ネットワーク)

■ 共通部

使用電源 : DC 14.4 V
(10.8 ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式 : マイナスアース方式
最大消費電流 : 10.0 A
外形寸法
(取付寸法) : 178 (W) \times 100 (H) \times
160 (D) mm
(ノーズ寸法) : 170 (W) \times 94 (H) \times 17 (D) mm
質量 : 1.8 kg (コードユニット含まず)

■ 付属品

コードユニット : 1
取付ネジ類 : 1 式
取扱説明書 : 1
取付説明書 : 1
安全上のご注意 : 1
保証書 : 1
ご相談窓口・
修理窓口のご案内 : 1

ドルビーラポラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

メモ

- 上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

ご購入後の製品の修理・取り扱いのご相談は、お買い求めの販売店へお問い合わせください

- 修理のご依頼は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」の項目をご確認のうえ、お買い求めの販売店へご依頼ください。
- 取り付け・組み合わせなどのお問い合わせにつきましても、お買い求めの販売店へご相談・ご依頼ください。

<下記窓口へのお問い合わせ時のご注意>

市外局番「0070」で始まるフリーフォンおよび「0120」で始まるフリーダイヤルは、PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。また、一般電話は携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。あらかじめご了承ください。


<安全上のご注意>

携帯電話などの走行中の使用などの禁止に関する規定が、改正道路交通法（法第71条第5号の5）にて施行されています。自動車または原動機付自転車（原付）からの、携帯電話などによる発信・応答・通話は、安全な場所に止めてからご利用ください。

製品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

● カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

〈受付〉月曜～金曜 9：30～17：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～17：00（弊社休業日は除く）

カーオーディオ/カーナビゲーション製品のご相談窓口： **0070-800-8181-11**
03-5496-8016（一般電話）

カタログのご請求窓口： **0070-800-8181-33**
ファックス：**03-3490-5718**

バイオニアホームページでのご案内

商品に関する「よくあるお問い合わせ」FAQのご案内 <http://www.pioneer.co.jp/support/faq/index.html>


カタログ請求とメールサービス登録のご案内 <http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html>

部品のご購入についてのご相談窓口

付属品（リモコン・取扱説明書など）のご購入に関するご相談については、部品受注センターにご相談ください。

● 部品受注センター（フリーダイヤル）

〈受付〉月曜～金曜 9：30～18：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～17：00（弊社休業日は除く）

電話： **0120-5-81095**
0538-43-1161（一般電話）


ファックス： **0120-5-81096**

ご贈答品などの修理についてのご相談窓口

修理のお問い合わせは、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」の項目をご確認のうえお問い合わせください。ご転居されたり、ご贈答品などで、お買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、下記の修理受付センターにご相談ください。

● 修理受付センター（沖縄県を除く全国）（フリーダイヤル）

〈受付〉月曜～金曜 9：30～20：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～18：00（弊社休業日は除く）

電話： **0120-5-81028**
03-5496-2023（一般電話）

ファックス： **0120-5-81029**

● 沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

〈受付〉月曜～金曜 9：30～18：00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話：**098-879-1910**（一般電話）
ファックス：**098-879-1352**

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒1-4-1

© パイオニア株式会社 2004

< KNNZF > < 04A00000 > < CRA3576-A/U >